

「済生会交差点」  
急性期病院の介護福祉士  
多職種で排尿ケアチーム

# 濟生

SAISEI

THE NEWSLETTER of  
Social Welfare Organization  
Saiseikai Imperial Gift Foundation, Inc.

No.1110



12

December 2021

社会福祉法人

恩賜財団 済生会

<https://www.saiseikai.or.jp>

# 済生会の 不易流行論

理事長 炭谷 茂  
*Shigeru Sumitani*



159

## 建前の世界から抜け出して

これは、環境省官房長として国会対策に忙殺されていた20年前の話である。地球温暖化防止対策を推進するため温暖化効果ガス排出の抑制策の審議が、早朝の自民党の環境部会で行なわれた。

緊張感がみなぎっていた。これまで環境部会に顔を見せたこと

のない派閥幹部の大物議員を含め、狭い部屋は、ぎりといっぱいになった。当時は環境問題に関心を持つ自民党の国会議員は少数だった

しかし、この日の様子は違った。緊張感がみなぎっていた。これまで環境部会に顔を見せたこと

のない派閥幹部の大物議員を含め、狭い部屋は、ぎりといっぱいになった。

世の中に建前だけを掲げ、実質的な行動が伴わない事例によく出合う。

多くの企業は、SDGs（国連の持続可能な開発目標）の履行を宣言している。しかし、実施内容をホームページで確かめると、企業の本来業務を並べて美しいキャッチコピーで表現するだけで、本当にSDGsの理念を理解しているか伝わってこない。

外国人技能実習生制度は、建前として国際貢献を掲げるが、日本の現場では労働力としてしか考えていない。人権問題も頻発する。

医療や福祉の仕事は、公益の代表である。コロナ禍で再認識させられたが、建前だけだと感じる事例が散見される。しかし、済生会は、どこまでも徹底的に公益を追い求めていきたい。

その時は、意地悪な質問だと思つたが、冷静に考えると真理を突いている。建前だけを言うのではなく、実現のためにあらゆる面にわたって行動すること

## 昨日、 今日、 明日、三井住友銀行と。

昨日とは違う今日をはじめるために。

今日を未来へつなげていくために。

私たちは、お一人おひとりの毎日を、

一つひとつの変化を、丁寧に見つめていきたい。

いつどんなときも、あなたにいちばん近い銀行でありたい。

これからもずっと、あなたの人生のパートナーであるために。



# 済生

SAISEI

## CONTENTS

DECEMBER, 2021

### NEWSな済生人

6年ぶりに小児科常勤医が着任

〈島根〉江津総合病院

小児科部長

廣田保蔵さん+

06

中澤芳夫さん

### 済生会交差点

《急性期病院の介護福祉士》介護の視点を病院で生かす。看護の専門性を高める効果も／《排尿ケアチーム》社会復帰は排尿自立が大事。多職種で継続的・包括的に支援／《地域をコロナから守る》コロナを正しく知って! 病院から地域へ健康情報の出前／《老健の看取り》施設一丸で希望に応え、最期までその人らしく支える

10

### 第19回

全国済生会在宅サービス協議会

16

新型コロナウイルスとの戦いの記録

18

ソーシャルインクルージョン

20

### がんばろう! 済生会

〈福井〉特養聖和園

26

この人 天海祐希

28

口福にっぽん 吉井省一

30

だれでもかんたんてづくりおもちゃ

いまいみさ

32



## 12月のたよりが聞こえる トラフグ

フグは捕まると、ブーブーと膨れながら、鳴く。揚子江や黄河の河口域でよく取れ、豚のようだというので「河豚」。それが漢字の

由来だが、日本ではフクと呼ばれ、布久を当てていた。フグと濁るように成了たのは江戸時代らしいが、関西から西はずっとフクが主流で、大阪では特にテッポウの異名を賜った。

もちろん、当たると死ぬからだ。

兵士に死なれては困るのでフグ食は秀吉が禁止。江戸時代以降、「フグは食いたし命は惜しけ」だったのが禁じたというが通説だ。中でも黒のまだら模様が虎を思わせるトラフグは、フグ食の王様。水揚げ本場の山口県下関市では、身だけを一晩、冷水にさらしてから透き通るほど薄くひき、菊の花や鶴亀をかたつて大皿に盛りつけ、魔法のように「ふぐ刺し絵」が完成する。

当たるのは神経毒のテトロド

本場の山口県下関市では、身だけを一晩、冷水にさらしてから透き通るほど薄くひき、菊の花や鶴亀をかたつて大皿に盛りつけ、魔法のように「ふぐ刺し絵」が完成する。当たるのは神経毒のテトロド

表紙のことば  
来年は寅年、福が膨らみますように

表紙イラスト 久保田真由美 *Mayumi Kubota*

「あ～フグが食べたいな～」。寒くなるとそう思う方もいるのではないでしょうか。食通を時に命がけにさせ、豊臣秀吉に禁止されながらも食べられ続けてきましたおいしさです。贅沢の王様はトラフグで、英名

で Tiger puffer。日本語の直訳? それとも、やはり虎からきているのでしょうか。みなさまに、また寅年に福がありますように。福が大きく膨らみますように。と願いを込めたトラフグです。

### 巻頭コラム 済生会の不易流行論

建前の世界から抜け出して 理事長 炭谷 茂 03

12月のたよりが聞こえる —— トランプ  
表紙のことば 久保田真由美 05

### TOPICS

載々、大雑報

34

60

題字協力: 石飛博光

アートディレクション: OVO INTERNATIONAL



05 SAISEI | 2021 DECEMBER

SAISEI | 2021 DECEMBER 04

## 6年ぶりに小児科常勤医が着任

「小児科が手薄な地方の病院の役に立ちたい」  
——都内で開業していた小児科医院を後継者に譲り、島根にターンした廣田保藏さんは7月、江津総合病院の小児科部長に着任しました。同院の小児科常勤医師は実に6年ぶりで、急速に進む人口減少と高齢化の対策でコンパクトスタイルを目指す江津市にとつても明るいニュースです。同病院の舵を取る院長の中澤芳夫さんと、山陰の小都市における済生会のまちづくりを展望してもらいました。(済生会本部 広報室)

**中澤** 島根県江津市は「東京から一番遠いまち」と市のホームページでも紹介されています。その東京にいた廣田先生が、なぜ当院の医師募集に応募してきたのかと素朴に思いました。よく決心しましたね。

**廣田** 勤務医・開業医として小児科医療に40年携わってきましたが、少子高齢化で小児科医のいない地域の苦労を見聞きするうち、そんなところで自分の経験を生かせないかと、医療情報専門サイトで求人情報を

探すようになりました。

**中澤** そんなきっかけが。

**廣田** それからもう一つ、福岡の実家にいる90歳の母も気になっていました。同居を考え、福岡県内の病院の小児科の求人を探しましたが、隣の山口県を含めても該当なし……。そうした中、島根県で求人を見つけました。ところがリモート面接で昨年10月に採用が決まった矢先に、母が事故で亡くなりました。そのときはもう、東京・八王子市で開業していた小児科医院の後継者も決まっていました。

**中澤** 江津には当院の下見で初めて来られましたが、印象は?

**廣田** 縁もゆかりもない土地で、赴任前に一度現地を見ておこうと足を運んだのですが、

※写真撮影時のマスクを外しています

## 都内のクリニックを後継に譲り単身江津へ 「小児科医のいない病院のために働きたい」

が、とにかく遠かったです(笑)。出雲空港へ午後10時過ぎに着き、レンタカーで江津まで。真っ暗な山陰路をひたすら西に向かいました。一夜明けると晴天で、石見地方伝統の石州瓦の赤茶色が映えるまち

並みが印象的でした。

**中澤** 今回の転職をご家族はどうのように受け止められたのですか。

廣田 妻は快く賛成してくれました。自宅

は神奈川県相模原市にあって、私は単身赴任なので、月に一度は家事をしに江津に来てくれます。そのたびに、おいしい魚を食べたり温泉に行ったりして旅行気分を満喫していますよ。ちょうどいまこっちに来ていて、今日は世界遺産の石見銀山にある温泉津温泉に行っています。

**中澤** それは何よりです。新天地の暮らしはいかがですか。

**廣田** 朝は5時ぐらいに、波の音を聞きながら海岸を散歩するのが日課です。休日は県内をドライブしていて、日本海に沿つて走つたり、山のほうまで行つたり。ひとつひとつたたずむ集落を眺めながら過ごすひと時が好きですね。先日は、「出雲国風土記」の神話にも出てくる三瓶山に登つてきました。そんなスローライフが自分に合っています。

**中澤** 「いつでも小児科医がいる」安心感

**廣田** 当院では常勤医不在の間が何かと不便で、特に産婦人科に負担がかかっていました。小児科の診療体制が整つたことで、出産後のケアも万全です。

私の専門は悪性腫瘍で、大学病院で小児の期待に応えられるよう頑張ります。



病院徒歩1分の戸建ての医師住宅



骨髄移植に従事した後、小児科医院を開業。

診療と経営の両立を15年続けましたが、初心にかえって、もう一度臨床に没頭しようとした江津にきました。年齢を考へても、消耗するだけの都会でなく、小児科医がない

## 医療を基盤とした “まちづくり”を目指す



【上】地域医療連携推進法人「江津メディカルネットワーク」の設立を記念した講演で挨拶する中澤院長  
【下】地域とつながる「病院祭り」では伝統文化の継承にも一役買っている

中澤 当院の医師数は16人。各診療科が医師1人の体制で替えが効かない。ですから医師が先頭に立つてあらゆることに采配を振るのは物理的に難しく、看護師の力を借りざるを得ないのが実状です。看護師さんでできることは全部任せて、医師を支えてもらおう構図です。

廣田 ところで病院経営ですが、これから



廣田 看護師さんが頑張る土壤が伝統的にあるのですか。

中澤 その看護師の負担を他の職種がカバーする——。スタッフの頑張りが当院を支えています。長年、経営が厳しい状況が続いているのですが、大ナタを振るつたわけではなくて、小さな無駄を省くなど、できることを少しずつ積み重ねてきました。スタッフ一人ひとりの「なんとかしなくては」の意識がそれを可能にしました。

個人的には「院長をちゃんと支えますから」という事務スタッフの一言は頼もしかった。

廣田 繰り返しになりますが、医師の立場からは、少数精銳で良質な医療を実践できているのは、やはり看護師さんの頑張りがあつてこそだと思います。されば看護師さんの給与を上げてもらえるといいのですが……。

中澤 他の医療機関からの新任の医師にそんなど褒めてもらえるのは、第三者評価の意味合いがあり、励みになります。

## 病院も「まちづくり」に貢献する

廣田 まちに魅力があれば人が集まり、人口は増えるでしょう。

中澤 そうですね。そのためにも、先ほど廣田先生も言及したように、小児科を含めて当院のことを地域にもつと知つてもらえるよう、広報活動に力を入れていく必要があります。市のコンパクトシティ構想と、済生会の掲げる「医療を基盤としたまちづくり」は同じ方向を目指しています。その実現に向けて、廣田先生には今後もご助力いただきたいと思います。

この病院で腰を落ち着けて診療にあたる覚悟です。

中澤 患者さんにとつて、いつでも小児科を受診できる安心感は大きいです。市内には小児科の開業医もいますが、夜間や休日は20km以上離れた浜田市の国立病院機構浜田医療センターなどに行かなければなりません。この地に負担をかけないよう気を遣っているのでしょうか。みなさん「焦らなくてても大丈夫。済生会病院に行けば何とかしてもらえる」とどうぞ構えていて、当院は市民から信頼されていると感じます。

中澤 実際のところ、6年間小児科の常勤医がいなかつたので「病院に行つても先生がいないし……」と、患者さんは思っていたのかもしれません。あるいは、そんな状況が長く続く中で、冷静に様子を見て判断する力がついたのかもしれません。

廣田 なんと言つても、看護師さんがよく働く環境が整つていて、スタッフの皆さんは親しみやすくていいですね。浜田弁を聞いていると穏やかな気持ちになります。

中澤 そう言ってもらえたうれしいです。当院に来て気づいたことはありますか。

廣田 原動力は「看護師の力」

中澤 新しい職場の雰囲気はいかがですか。

廣田 診療に専念できる環境が整つていて、スタッフの皆さんは親しみやすくていいです。浜田弁を聞いていると穏やかな気持ちになります。

中澤 「江津総合病院には小児科常勤医がいる」。廣田先生に、存分に腕を振るつてもうためにも周知に力を入れていきます。

廣田 いまのところ、時間外や休日の受診は週に3、4件。オンラインで対応しています。一刻を争うような状態でなければ、深夜に駆け込んでくる患者さんはいません。この地域の方は、病院に負担をかけないよう気を遣っているのでしょうか。みなさんが「焦らなくてでも大丈夫。済生会病院に行けば何とかしてもらえる」とどうぞ構えていて、当院は市民から信頼されていると感じます。

中澤 実際のところ、6年間小児科の常勤医がいなかつたので「病院に行つても先生がいないし……」と、患者さんは思っていたのかもしれません。あるいは、そんな状況が長く続く中で、冷静に様子を見て判断する力がついたのかもしれません。

廣田 20年後に3割も減るのでしょうか。

中澤 こうした中、江津市はコンパクトシティ構想を打ち出しています。病院や商業施設などの都市機能と住民の居住区域を一定の範囲に集中させるものです。江津市出身者がベトナムで日本語学校を開いて成功した事例もあり、市内外に外国人のための語学学校をつくる計画もあります。卒業生にこの地域で就職・定住してもらい、人口を増やそうという構想です。

廣田 まちに魅力があれば人が集まり、人口は増えるでしょう。

中澤 そうですね。そのためにも、先ほど廣田先生も言及したように、小児科を含めて当院のことを地域にもつと知つてもらえるよう、広報活動に力を入れていく必要があります。市のコンパクトシティ構想と、済生会の掲げる「医療を基盤としたまちづくり」は同じ方向を目指しています。その実現に向けて、廣田先生には今後もご助力いただきたいと思います。

# 介護の視点を病院で生かす

## 看護の専門性を

性期病院の  
介護福祉士  
福岡総合病院  
看護部  
大嶋由紀

福岡総合病院  
看護部  
大嶋由紀

福岡総合病院では、

七 性を で、「療養上の世話」の質を向上させる効 果も。治療を優先しがちな 急性期の現場で、介護福祉士が実践する「患者中心のケア」

のは、とにかく  
顔が多いこ  
みやつらいこ  
多い患者と  
持ちも暗く  
すよね。少  
私の笑顔で  
したいんで

ISEI | 2021 DECEMBER 10

高める効果も

で、「療養上の世話」の質を向上させる効果治療を優先しがちな現場で、介護福祉

みやづらいことの  
多い患者さんは気  
持ちも暗くなりま  
すよね。少しでも  
私の笑顔で明るく

A female healthcare worker wearing a white mask and blue scrubs, standing behind a black NEC laptop in a clinical setting.

ISEI | 2021 DECEMBER 10

# 済生会 交差点

A woman with short dark hair, wearing a dark blue uniform with white piping on the collar and cuffs, stands smiling. To her left are two stylized illustrations of city skylines. The top skyline shows several buildings of varying heights against a blue background. The bottom skyline is more detailed, showing individual windows and architectural features of the buildings.

急性期病院で働く  
介護福祉士にとつて  
介護施設と異なる点  
は、病気について学  
ぶ必要があることと  
リハビリの目標が現  
状維持ではなく回復  
に向けたA D L 拡大であること  
です。

ルームで認知症の患者さん向  
当院では介護福祉士が、デイ

入院生活にリスクをつくる患者さんも職員も笑顔になる活動です。コロナ禍で現在は行なつていませんが、いつか再開できることを願っています。

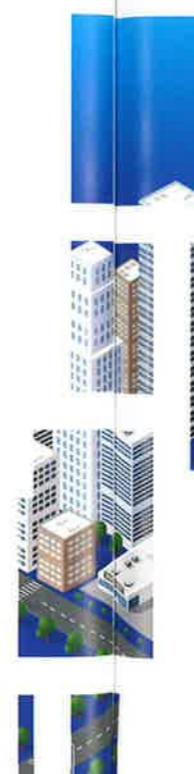
当院は看護師2人がパ

愛知県済生会リハビリティー  
ション病院は2020年12月、  
排尿ケアチームを立ち上げまし  
た。自力で排尿できない患者さ  
んなどに留置した尿道カテーテ  
ルをなるべく早く抜き、尿路感  
染症の予防と排尿自立によつて、

早期の社会復帰と生活の質（QOL）の向上を目指して活動しています。

リテーショ  
ン病棟での  
排尿自立支  
援を評価す  
る「排尿自  
立支援加算」が新設され  
たこと。チームは、下部  
尿路機能障害（排尿困  
難・尿失禁・重度頻尿な  
ど）に対応する多職種の集まり  
で、所定の研修を修了した筆者  
はこのチーム専任の看護師です。

活動の柱は、週に一度の排尿ケア回診。多職種の専門性を生かせるように、医師1人・薬剤



# コロナを正しく知って! 病院から地域へ 健康情報の出前



がたくさん寄せられるなど、感染症の対策・予防に関する依頼が多い1年でした。今年11月までに「感染対策」は12回の講座を行ない、延べ245人が聴講。感染制御実践看護師の筆者を中心とした回診も行なっています。

心に、新型コロナの正しい知識を地域に届け、受講者もその家族や仲間も守る活動を続けています。その講座は二つの柱で構成。一つ目は新型コロナの正しい知識と感染予防の啓発。受講者がよく洗ったのになんで?!

正確な感染対策を習得し、いつもの生活に新しい生活様式をプラスすることで、再び地域どつながらつていけるように後押しするのが狙いです。具体的には、手洗いとユニバーサルマスキング(公共の場での常時マスク着用)、人との距離、換気、掃除、清掃が大切だと呼



ATPでは、「きれいに見えていた部分が白く光る手洗いトレーニング機器」で、洗い残しを見ます。

ATPでは、「こんなに汚れているの?」と驚き、「グリッターバッグ」で、洗い残しを見ます。

びかけます。そして感染予防対策で重要な手洗いは、医療用の器具で実体験してもらいます。まず、細菌などの汚れを数値化するATP測定器で各自の手の汚れ具合を確認。次に、専用口腔内シリンジで洗った手をかざすと、洗い残した部分が白く光る手洗いトレーニング機

も、こんなに汚れているの?」と驚き、「よく光る手に『なんでも!』とまたびっくりするみなさま。汚染度の可視化で、手洗いの大切さ

下部尿路機能障害の評価に個人差が見られる、排尿日誌の記載漏れがあるなど課題もあります。

金沢病院では2019年度から、住民の求めに応じ、医師・看護師などが公民館等に出向く「なでしこ出前健康講座」を実施しています。専門職が感染症の予防や健康改善法などについて直々に話し、地域をもつと健康にする活動です。



1年ですが、スタッフの活動開始からもうすぐ1年がつっています。急性期よりも長く患者さんと関わる回復期だからこそ、継続的・包括的な排尿ケアで退院後の生活を見据えて支えられます。



師1人・看護師5人・理学療法士または作業療法士4人の構成で、下部尿路機能障害の患者さんのベッドサイドを回ります。医師は身体面などを評価し、薬剤師が薬を確認。リハビリ専門職が評価した「できるADL」と、看護師による「しているADL」の差を、できる限り埋めるための検討も行ないます。

21年7月までの8カ月間に37回の回診を実施。新規入院患者735人のうち70人(9.5%)

に、延べ355回(1人当たり約5回)介入しました。対象の内訳は、脳血管障害47人(67.1%)、運動器疾患20人(28.6%)、廃用症候群3人(4.3%)。尿道カテーテルの留置や間欠的導尿などで、排尿ケアを要する患者さんがこれだけ入院しています。

## リハ意欲もADLも向上

回診では、現病歴・認知機能・ADL評価に加え、排尿日誌

の記録(排尿時刻・排尿量など)と簡易エコーの残尿測定結果から下部尿路機能障害を分析。さらに回診による分析・評価で、数例を除く多くの患者さんは排尿が自立できると分かり、尿道カテーテルの抜去や間欠的導尿も行ないます。この回診による分析・評価を中止できました。

入院早期から排尿ケアチームが介入し、排尿自立支援を行なった患者さんは「管がつながっているの?といふのとでは全然違う。ずっと尿が出ないかも?」と笑顔。リハビリテーション意欲やADLが高まって、退院後のQOLの向上にもつながっています。

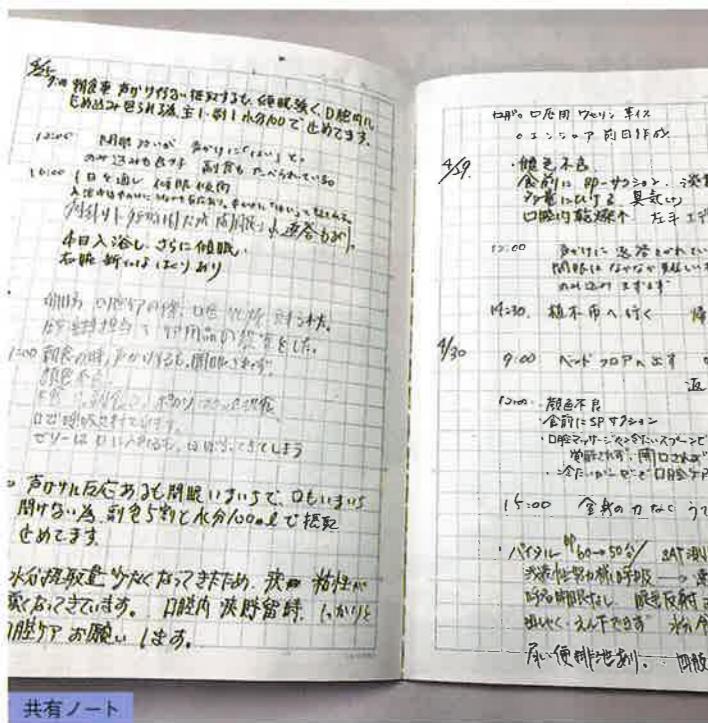


し、病棟スタッフも巻き込んだ活動を目指しています。「排尿ケアを、当チームだけでなく病

院全体で」——それを当院のリハビリテーションの質の向上にもつなげます。

活動を目標としています。

院全体で」——それを当院のリハビリテーションの質の向上にもつなげます。



## 老健の 看取り

〈福島〉  
老健めがみ  
介護福祉士  
齋藤美希

**施設一丸で希望に応え  
最期までその人らしく支える**

当施設では「ここで看取つてほしい」という入所者さん・ご家族の希望を受け、2017年4月から看取りケアに取り組み始めました。老健は、生活機能の維持・向上を目指し、自立した在宅生活の継続を支援する施設です。しかし在宅の体制が整わないなど、家庭状況やご家族

の希望によって、基本理念「その人らしく支える」看取りもここで行なっています。

**全職員で情報共有し支援**

で「最期までその人らしく過ごし、満足してもらつて見送ることができるのか」が一番の気がかりです。その払拭<sup>ふっしょく</sup>に向<sup>むか</sup>け、逝去後に振り返りカンファレンスを実施。看取りに関わった全員が感じたこと・思ったことを書き出し、その人に寄り添つたケアをみんなで振り返つて、次のアをみんなで振りかせるようにしています。

普段から寄り添う大切さ

「人生の最期をどのように迎えるか」はデリケートな問題です。自分のことながら、どう過ごしたいのか具体的に表現できない入所者さんもいます。そんなときは、入所中の様子から本人の気持ちをくみとり、ご家族の希望も伺つて、何を一番望んでいいのかを考えます。そして、それに対するできる限りの個別ケアを行ないます。

いつも食事を楽しみにしていたAさん。できる限りおいしくそして楽しい食事を継続しようとして、医師・看護師・リハビリ専門職・介護職で対応を検討。経口摂取維持のため車いすのポジショニングを工夫し、覚醒状況を確認したうえで、凍らせた栄



入所者さんとぬり絵をする筆者

その人らしい最期を支えられるよう、ターミナルケアチームで情報を共有

を再認識していきます。

き頼れる人の確保)④□の中を



出前健康講座を、地域のケーブルテレビも取材に



「こうやって、指先や爪の間までしっかりと洗いましょう。

もう一つの柱は、感染を恐れた不活発な生活習慣の対策。コ

口ナを不安視するあまり自宅にこもりがちとなり、フレイル（加齢による心身の活力低下）の進行が危惧されるためです。

そこで①適度な運動（筋力の維持、関節を動かす運動、日光浴）②バランスのよい食事（たんぱく質・ビタミンなどの重要性）③人との交流（電話やSNSの活用、オンライン健康講座、会話時のマスク着用、万一对

（掃）――など、いますぐできること  
行動を紹介しています。

コロナ禍では、さまざまなお活動が自粛・制限され、地域の交流機会が減少。さらに流行の長期化に伴い、ストレスを抱えた地域住民も増加しています。私たちの生活も医療も、従前のようにさまために戻るにはもう少し時間がかかりそうですが、それまでは正しい感染予防の実践が大切です。金沢病院はそのサポートを継続し、地域を感染症から守ります。



うにしています。

（1人）も居室担当者の相談に乗りながら支援します。

課題は、入所定員29人の小規模施設のため夜間は介護職員のみとなるなど、職種によって入所者さんと関わる時間や把握する情報量が異なること。そこで多職種間で情報をきめ細かく共有する「共有ノート」を準備し、対象者の毎日の状態や表情を記録。施設全体が綿密にし、どの職員も不安なく本

うにしています。

現在は、ご家族の希望もなく看取りケア対象の入所者さんはいませんが、いつでも対応できるよう、感染対策下での看取りの体制整備を進めています。

A photograph showing a caregiver wearing a white surgical mask leaning over a table to interact with an elderly person with grey hair. The elderly person is seated at the table, which has a drawing on it. They are both looking down at the drawing.

ICEL | 2021 DECEMBER

## 第19回全国済生会在宅サービス協議会報告

# 新型コロナウイルス感染症拡大の現状から 在宅ケアを考える

会長（唐津医療福祉センター長）園田孝志

2年ぶりの開催となつた全国済生会在宅サービス協議会が11月6日に

（大阪）吹田病院で開かれ、「新型コロナによる経営環境の変化に対し済生会はどのように進むべきか、ポストコロナの済生会の基本的あり方を解説、「在宅支援サービスの強化」という目標を示し、あらためて在宅サービスの重要性を認識しました。



ました。

今回は恒例のシンポジウムに代わり、炭谷茂理事長が「済生会における在宅サービスの使命と方向」と題して講演。コロナによる経営環境の変化に対し済生会はどのように進むべきか、ポストコロナの済生会の基本的あり方を解説、「在宅支援サービスの強化」という目標を示し、あらためて在宅サービスの重要性を認識しました。

次回は昨年中止となつた三重県支部が担当で、令和4年7月16日に四日市市で開催予定です。

口ナウイルス感染症拡大の現状から在宅ケアを考える」を全体テーマに、現地とWeb参加合わせて147人が出席しました。

総会・全体会議に続き、岡上武支部長が「コロナ禍での医療の現状と職員の生き甲斐を考える」と題した特別講演が行なわれ、その後、協議会を構成する五つの部会が開かれ、全体テーマを意識した討議を実施し



「コロナの中でも事業をやり通す」をテーマに39事業所から44人が参加しました。

新型コロナ感染拡大の中でも7割の事業所が利用者の制限をすることなくサービスを継続。利用者やスタッフの安心のために感染防止対策や環境整備を進めながらも、緊張感を強いられていたことが分かりました。

議論の中で課題も見え、地域で協力し合えるステーションが必要という一方で、事業継続計画（BCP）の未整備な施設が多いことが判明。そこで、BCPを策定・運用している（大坂）野江訪問看護ステーションが「新型コロナウイルス感染症拡大の現状から在宅ケアを考える」人・地域・経営を守る」と題して活動報告を行ないました。

同施設は職員全員で運営目標が設定され、BCPの策定が進むことを期待します。



「福岡」訪問看護ステーション芦田鶴 管理者 山口エリ子

（福岡）訪問看護ステーション芦田鶴 管理者 山口エリ子

「コロナの中でも事業をやり通す」をテーマに39事業所から44人が参加しました。

新型コロナ感染拡大の中でも7割の事業所が利用者の制限をすることなくサービスを継続。利用者やスタッフの安心のために感染防止対策や環境整備を進めながらも、緊張感を強いられていたことが分かりました。

議論の中で課題も見え、地域で協力し合えるステーションが必要という一方で、事業継続計画（BCP）の未整備な施設が多いことが判明。そこで、BCPを策定・運用している（大坂）野江訪問看護ステーションが「新型コロナウイルス感染症拡大の現状から在宅ケアを考える」人・地域・経営を守る」と題して活動報告を行ないました。

同施設は職員全員で運営目標が設定され、BCPの策定が進むことを期待します。

## 訪問介護部会 ICT化の進展を確認

（埼玉）ケアステーションなでしこ 管理者 福田重希

訪問介護部会は、12施設から13人がオンラインで参加、意見交換をしました。

始めに、開催に先立ち実施した事前アンケートの結果として、意見交換では、「コロナ禍における運営状況」「ICT化」「済生会のスケールメリット」の3点をテーマに実施しました。

特に、ICT化では、介護職員の高齢化や業務の煩雑さから、あまり進まない分野でしたが、各事業所で取り組みが進んでいたり、計画が進行していることが分かり、スタッフの意識改革が行なわれている現状が見られました。

よりよい在宅ケアを目指し、課題を共有しながら、前向きに進んでいると感じた部会となりました。

コロナ陽性者の自宅療養者への訪問体制づくりも含め、BCPの策定が進むことを期待します。



## 通所介護・**BCP策定**「科学的介護推進体制加算算定に向けた取り組み」を発表

（大阪）松風園デイ・サービスセンター 管理者 木村英二

「コロナ禍において通所サービスが目指していくもの」をテーマに、オンラインも含め28施設が参加しました。事前アンケート

の参考になりました。

居宅介護支援事業所部会  
**コロナ禍での介護支援専門員の役割**

（愛媛）今治指定居宅介護支援事業所さいせい 管理者 中村一人

「コロナ禍において事業継続するための介護支援専門員の役割とは」をテーマに24施設24人が参加しました。

本部会では、事前アンケートの結果報告と各施設の感染対策等の意見交換を実施、サービス休止時の代替サービスの調整、

ワクチン接種への対応など日常生活の様々な対応に追われているとの情報を共有しました。

感染症や災害マニュアルが作成されていない事業所が65%もあり、（三重）明利居宅介護支援センターの中村喜子氏が感染症マニュアルを紹介して配付。



## 地域包括・在宅介護支援センター部会 オンライン等で「つながり」を保つ

（東京）港区立南麻布地域包括支援センター 社会福祉士 佐藤志穂子

「新型コロナウイルス感染下での取り組みと今後について」をテーマに、15事業所がオンラインで交流しました。

（北海道）小樽市と（奈良）桜井市の取り組みの報告を受け、参加者で情報を共有しました。

コロナ禍で活動の原点である「出かける・集まる・話をする」が制限されました。が、オンライン会議の実施では、介護事業者のみならず、行政や地域にも対象範囲を拡大していました。広

報も工夫を凝らし、また、新しい工夫をしながら取り組みが始まっています。一方で、コロナ禍における困難事例の増加に苦慮しているという声も聴かれました。今後は、従来のつながりを切れないと、新たなための工夫やオンライン等環境の整備、新しい地域づくりのために地域の人々と課題の共通理解を進めしていくことが大事ではないかと感じました。

今後は、従来のつながりを切らなかったための工夫やオンライン等環境の整備、新しい地域づくりのために地域の人々と課題の共通理解を進めていくことが大事ではないかと感じました。



（愛媛）今治指定居宅介護支援事業所さいせい 管理者 中村一人

「コロナ禍において事業継続するための介護支援専門員の役割とは」をテーマに24施設24人が参加しました。

本部会では、事前アンケートの結果報告と各施設の感染対策等の意見交換を実施、サービス休止時の代替サービスの調整、



居宅介護支援事業所部会  
**コロナ禍での介護支援専門員の役割**

（愛媛）今治指定居宅介護支援事業所さいせい 管理者 中村一人

「コロナ禍において事業継続するための介護支援専門員の役割とは」をテーマに24施設24人が参加しました。

本部会では、事前アンケートの結果報告と各施設の感染対策等の意見交換を実施、サービス休止時の代替サービスの調整、

ワクチン接種への対応など日常生活の様々な対応に追われているとの情報を共有しました。

感染症や災害マニュアルが作成されていない事業所が65%もあり、（三重）明利居宅介護支援センターの中村喜子氏が感染症マニュアルを紹介して配付。

（愛媛）今治指定居宅介護支援事業所さいせい 管理者 中村一人

「コロナ禍において事業継続するための介護支援専門員の役割とは」をテーマに24施設24人が参加しました。

本部会では、事前アンケートの結果報告と各施設の感染対策等の意見交換を実施、サービス休止時の代替サービスの調整、

ワクチン接種への対応など日常生活の様々な対応に追われているとの情報を共有しました。

感染症や災害マニュアルが作成されていない事業所が65%もあり、（三重）明利居宅介護支援センターの中村喜子氏が感染症マニュアルを

# 新型コロナウイルスとの戦いの記録



取材クルーのインタビューに応える宮崎俊一院長

週1回の定例カンファレンスで、総合内科医に必要な知識・診断力の学習をスタート。総合内科的な視点を備えた内科医チームで患者を多面的に診る体制を促進してきたことが奏功し、迅速

に軽症～中等症のコロナ患者に対応できたのです。

## 各分野の内科医が協働 専門医不在をカバー

総合内科医の窪田剛医師は

「総合内科医や各分野の内科医があらゆる可能性を考えながら患者を総合的に診れば、より多くの新型コロナ患者の重症化を防ぐことができる」と話します。

さらに「総合内科医のような医師が増えれば、患者の受け入れを断る事態を減らすことができる」とも指摘しています。

次の感染拡大に備え、国は病床と医師の確保を重要課題に挙げています。こうした中で、多くの専門医の配置が難しい中小病院では、総合的な視点を持つ内科医に期待が集まります。

総合内科医中心の当院の新型コロナ診療体制が、専門医不在の全国の医療機関にも広がり、一人でも多くの命を救うきっかけになれば幸いです。

(リハビリテーション科  
技師長 島崎寛将)



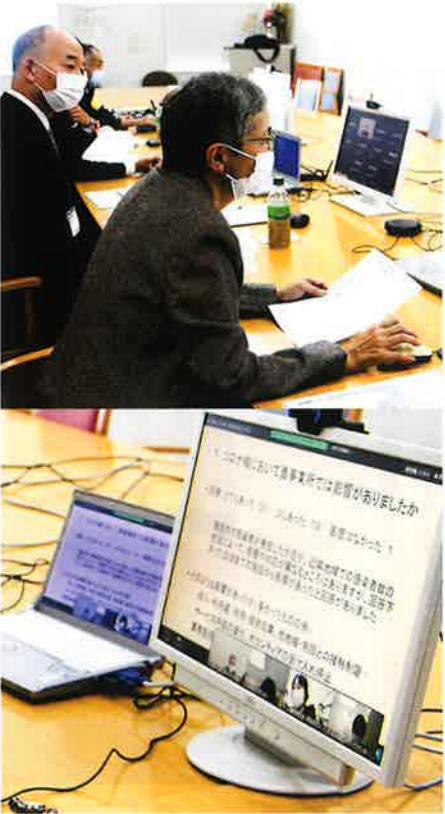
カンファレンスの様子を撮影



総合内科・窪田剛副院長

当院の総合内科医を中心とした新型コロナの診療体制について、NHK「おはよう日本」の取材を受け、10月26日に放送されました。番組では、コロナ禍で多くの病院が新型コロナ患者を診られる専門医の不在・不足の課題を抱えており、当院の診療体制はその解決の切り札になりました。

当院は感染症や呼吸器の常勤専門医不在の中、2020年4月にコロナ専用病床を設け、総合内科医を中心とした受け入れを開始。実は、宮崎俊一病院長が2016年に就任した際、消化器・循環器・腎臓など幅広い分野の内科医で行なっていた



〈大阪〉富田林病院

## 「コロナ診療の切り札! 総合内科医中心の診療体制を NHKが全国放送で紹介



ト結果報告に続き、「BCP策定」「科学的介護推進体制加算策定に算定に向けた取り組み」を2施設が発表しました。  
（三重）明和苑デイサービスセンターの山本公子氏は、病院のBCPをベースに策定した施設版BCPについて、自然災害や感染症が発生した際にどのように対応するか、具体的なシミュレーションを用いて解説。（大

阪）なでしこりんくうデイ・サービスセンターの垣内章氏は、科学的介護推進体制加算策定について、算定に至った理由、ネット環境整備や操作方法の習得等の経過を説明しました。その後は質疑応答を実施。今後の通所サービスの展開の議論は時間の都合で意見交換できませんでした。



済生会はソーシャルインクルージョン推進計画を策定しました。  
無料低額診療もなでしこプランも、この中に含まれます。  
だれも排除されないまちづくりを目指し、  
全支部・施設が1641事業を展開します。

**保護観察者の社会復帰支援**  
**山形保護観察所と連携し除草作業**

山形済生病院

当院のなでしこプランの一つ「保護観察者社会貢献活動への受入支援事業」の一環で10月18日、保護観察対象者に、病院建物周辺と看護宿舎の除草作業をしてもらいました。この事業は社会復帰に向けた支援の一つで、山形保護観察所と連携し、自己肯定感や役割意識の醸成を目的に活動しています。

今回は計6人が参加し、

2時間ほど作業。当院のMSW 2人が立ち合い、活動の中で見えたストレングス（意欲・能力・強みなど）を対象者にフィードバックするなど、今後の社会生活に必要な自己肯定感や役割意識の醸成につながる関わりを行いました。

体験した一人は「自分は几帳面なので、きれいにできて達成感がありました」と話しており、活動の意義を感じたようでした。

# 更生保護 天神中央 インフル

**更生保護施設で健診・相談  
天神中央公園でホームレス  
インフル予防接種も**

広島病院



今までいる支援を工夫  
温かい衣類を生活困窮者へ

広島病院・呉病院・特養たか  
ね荘は、偶数月第4日曜日に行  
なわれるホームレス対象のカレ  
ーライス＆無料相談会（広島県

社会福祉士会等の主催)に参加し、生活困窮者に衣類を提供しています。



プランの一環で、無料健康診断と足湯サービスで年に一度参加していましたが、コロナ禍のため昨年・今年は活動を自粛。別の形で役に立てるのではないかと考え、衣類の提供を広島支部の職員に呼びかけたのです。今年は2月・6月・10月の3回参 加し、10月は温かいダウンジャケット

ケット・ジャンパー・コートなどが人気でした。開催場所が広島市中心部の教会なので、日曜日の午前は多くの外国人がミサに訪れます。衣類提供はホームレスのみならず、生活に困窮する外国人にも喜ばれています。

間保護する施設。健康管理に気を配る余裕がない人も少なくないため、少しでも健康を意識してもらえるように今後も継続していきます。

インフルエンザの予防接種を行  
ないました。



## 図書館で女性支援の出張相談会。子連れの方が多く

**〈栃木〉宇都宮病院・宇都宮乳児院**

宇都宮病院・宇都宮乳児院は、宇都宮市から受託するつながりサポート女性支援事業の一環で11月13日、女性のための出張相談会を開催しました。43人の相談者が来場し、稻見一美地域連携課長代理をはじめ4人のMSWが対応しました。

会場が図書館ということ目立ちました。「夫婦で収入が減り困っている」「母子家庭で将来のこと、子育てのことが不安など、生活・健康・家族や職場の人間関係などの相談が寄せられました。

相談者には、無料で生理用品を配布。「無料の生理用品は全てのトイレにあると安心が減り困っている」「母子家庭で将来のこと、子育てのことが不安など、生活・健康・家族や職場の人間関係などの相談が寄せられました。

（地域連携課 秋山綾香）



**近畿保護司の森川副院長が表彰**

月26日、近畿地方保護司連盟会長表彰を受けました。多年にわたる保護司活動の功績が評価されました。

現在、全国済生会刑余者等支援推進協議会の会長を務める森川副院長が掲げる三つの目標の一つ生き困窮者支援の重要な柱で、ソーシャルインクルージョンの推進にも欠かせない取り組みです。

「罪を犯した人の過去は消えないが、その後の本人の行動いかんで、新しい未来はつくれる」。森川副院長はこのように述べ、引き続き刑余者支援に取り組み、済生会の発展に寄与できるよう頑張つづくと強調しました。

（経理課主任 友田達郎）



## コロナ禍で定員の倍以上が来場 外国人支援の在り方は再考も必要

**〈栃木〉宇都宮乳児院**

「生活に困窮する外国人のための医療相談会」(NPO法人北関東医療相談会主催)が11月3日、東京のカトリック麹町聖イグナチオ教会で開催され、MSWの荻津守院長が相談に応じました。定員60人の予定でしたが、仮放免や難民申請中で、生活に困窮する外国人女性・

一日仮放免となつたものの、当日の居場所もない人もいました。一人。会場を奔走しすべての相談を何とか解決しました。

荻津院長は「ここに来る外国人は、生活全般に課題があり、無料低額診療事業のみでは力が足りきれない。関東で無低事業を行なう病院など関係機関との連携を深め、支援の在り方を参考していく」と話していました。

支援物資で用意した食料や衣類などは全くなくなり、生活困窮の深刻化を痛感しました。

（済生記者 小針達哉）



**市民40人で支え合いを考える**

地域支え合い研究会が10月23日、地域のコミュニティセンターで開催され、荻津守院長が講演しました。同研究会は、全世代型共生社会の実現を考える市民の集まり。当日は、医師・看護師・議員・NPO法人・地域で活動する40人ほどが参加しました。

講演のテーマは「つながりサポート相談室」。宇都宮市からの委託事業で、宇都宮病院と乳児院が連携し、コロナ禍の慢性的な経済不況で生活困窮する女性を支える窓口です。荻津院長は講演の中で「孤立する生活困難者の支援で必要なのは地域のつながり。すなわち地域力が大切で、3次元的支援の展開がその向上につながる」と説きました。

意見交換で参加者が

「問題を抱える中学生が、学校以外に地域の相談窓口で本気の大人と出会い、「あなたは悪くない」と体験できる、そんな素晴らしい地域にしたい」と、涙ながらに述べる姿が印象的でした。（済生記者 小針達哉）

（済生記者 小針達哉）





福井県済生会病院は、ソーシャルインクルージョン・SDGs企画の第1弾として10月18～22日に「フードドライブin済生会」を開催しました。フードドライブとは、家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体や施設などに寄付する活動のことです。



## 更生保護事業に感謝状

感謝状をいただきました。

佐賀市で11月12日に開催された「令和3年度佐賀県更生保護事業功労者顕彰式典」で、当院は更生保護事業功労者の民間協力者に選ばれ、九州地方更生保護委員会の岡坂吉朗委員長から

更生保護事業功労者顕彰は、事業や非行によって保護観察中の人に指導や助言をするなどして、更生支援に尽力した個人・団体をたたえるものです。

当院では、なでしこプランに基づき、2010年から医師・保健師・MSWが県内の更生保護施設を定期的に訪問し、入所者に医療・福祉相談を行なっています。そうした普段からの取り組みが、今回このような形で認められ大変光栄です。今後も済生の精神を地域に広め、更生保護事業のいつそうの充実と発展に寄与できるように活動を続けていきます。

（済生記者 相島蘭香）

集まりました。これらの食品は、福井保護観察所と、ひまわりキッチン（子ども食堂）に寄贈し、大変喜ばれました。引き続き関係団体を通じて、支援を必要とする人々に届けていく予定です。

（済生記者 吉川千恵）

## 東京更生保護施設連盟創立70周年記念式典



演題「誰一人取り残さない社会の実現に向けて」と題し記念講演を行ないました。

東京更生保護施設連盟創立70周年式典が11月4日、東京都千代田区内幸町のイイノホールで

罪を犯した人は支援の対象ではないと捉える福祉関係者が多いようですが、炭谷理事長は「更生保護は社会福祉事業であり、千年以上も昔からあって現在も解決されていない問題だ」として、済生会の支援の取り組みを紹介。山口刑務所で受刑者への介護初任者研修を続けていることや病院・介護施設で元受刑者らを採用、全国5県で地域生活定着支援センターを受託し、高齢や障害等で社会復帰が難しい刑余者を支援していることなどを説明しました。

引きこもりや児童虐待など新しい課題も続々出現していますが、

## 食品を保護観察所と子ども食堂へフードドライブin済生会



これらの課題は社会から誰一人取り残さないというソーシャルインクルージョンの考え方で解決していかなければならぬと訴えました。済生会でも生活困窮者支援などでこそプロンからさらに発展させ、全支部・施設が計1641のソーシャルインクルージョン事業を推進していると述べました。

さらに、「刑余者や障害者等が地域で暮らしていくには職をもつがソーシャルファーム（社会的企業）で、日本でも2千社の設立を目指したい」と、参加した更生保護施設の職員や保護司ら約130人に語りかけました。東京には19の更生保護施設があるといい、講演に先立ち同連盟の山田憲児会長が「70周年を機に一層精進し、息の長い支援に取り組んでまいります」と挨拶しました。（広報室）

## ソーシャルインクルージョンで元受刑者を地域に

開かれ、済生会の炭谷茂理事長が「誰一人取り残さない社会の実現に向けて」と題し記念講演を行ないました。

東京更生保護施設連盟創立70周年式典が11月4日、東京都千代田区内幸町のイイノホールで

罪を犯した人は支援の対象ではないと捉える福祉関係者が多いようですが、炭谷理事長は「更生保護は社会福祉事業であり、千年以上も昔からあって現在も解決されていない問題だ」として、済生会の支援の取り組みを紹介。山口刑務所で受刑者への介護初任者研修を続けていることや病院・介護施設で元受刑者らを採用、全国5県で地域生活定着支援センターを受託し、高齢や障害等で社会復帰が難しい刑余者を支援していることなどを説明しました。

引きこもりや児童虐待など新しい課題も続々出現していますが、

得ることが重要。その有効な一つがソーシャルファーム（社会的企業）で、日本でも2千社の設立を目指したい」と、参加した更生保護施設の職員や保護司ら約130人に語りかけました。東京には19の更生保護施設があるといい、講演に先立ち同連盟の山田憲児会長が「70周年を機に一層精進し、息の長い支援に取り組んでまいります」と挨拶しました。（広報室）

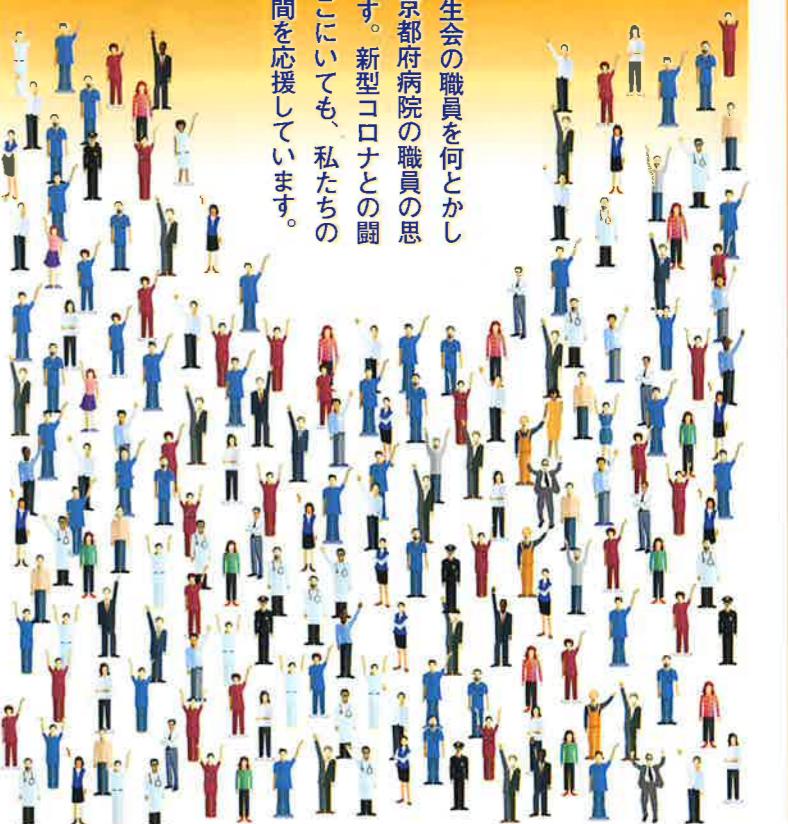
## 〈福井〉特養聖和園



がんばろう！  
済生会

KEEP DISTANCE!!

「必死でがんばる同じ済生会の職員を何とかして応援したい！」済生会京都府病院の職員の思いはまだ続きますが、どこにいても、私たちの心はひとつ。がんばる仲間を応援しています。





**あまみ・ゆうき** 1967年生まれ、東京都出身。ドラマ、映画、舞台、声の出演、CMなど幅広く活躍中。主な出演作に、舞台『賤作・桜の森の満開の下』、ドラマ『女王の教室』『BOSS』『緊急取調室』シリーズ、映画『恋妻家宮本』『最高の人生の見つけ方』『老後の資金がありません!』ほか。

「私は白鳥」とおじさんの奇跡の物語  
『私は白鳥』  
コロナ禍のステイホーム期間も良心に従い、家でじっとしていた。買い物は週に一度。買物リストをつくり、どのルートで回れば最短の時間で帰つてこられるかシミュレーションしてから出かけたとか。「家では普段なかなかかゆつくり話せなかつた母に毎日電話して、「今日、何してた?」なんてたわいもない話をしていました。でも、こういうことが本当は幸せでありますよね」

今回ナレーションを務めた映画『私は白鳥』でも、コロナで社会が大きく変わり、これまで当たり前だったことも、実は奇跡みたいなことだったと気づかされたそう。

「混乱がほんの少し落ち着いた今、今度は私たちがみんなの笑顔になつてもらう番。映画館に足を運んでいただき、やさしく、あつたかい気持ちで帰つていただけたら幸です」



#### 『私は白鳥』

毎年シベリアから越冬のために白鳥が飛来する富山県を舞台に、翼が折れ、群からたたつ一羽取り残された白鳥と、その白鳥を見守り続ける一人の男性の交流を記録したドキュメンタリー作品。「自分は白鳥だ」と言うちょっと不思議なおじさんと傷ついた白鳥との約4年間は、“まさか”と“奇跡”的連続だった

■監督：横谷茂博 ■出演・白鳥撮影：澤江弘一  
■語り：天海祐希 ■主題歌：「スワンソング」石崎ひゅーい  
2021年11月20日(土)から富山市・ほとり座にて先行上映  
2021年11月27日(土)からユーロスペースほか全国ロードショー

©2021 映画『私は白鳥』製作委員会

世の中がどう変わつても、自分が生きるために大切なこと。天海さんにとつてそれは「良心」だ。それこそ小さな飴の包み紙一つ、ここに捨てて後悔はない

か？ 良心に問い合わせるといふ。「お仕事なら、集中して台詞を覚えたあと、明日も朝が早いし寝なければと思っても、『もう一回、おさらいしなくていいの？』

か？」良心に問い合わせるといふ。「お仕事なら、集中して台詞を覚えたあと、明日も朝が早いし寝なればと思っても、『もう一回、おさらいしなくていいの？』

と言う自分がいるんです。ややもすれば人間は簡単なほう、楽なほうに流されてしまうから。それを食い止めるのは自分しかいないと思つています」

コロナ禍のステイホーム期間も良心に従い、家でじっとしていた。買い物は週に一度。買物リストをつくり、どのルートで回れば最短の時間で帰つてこられるかシミュレーションしてから出かけたとか。「家では普段なかなかかゆつくり話せなかつた母に毎日電話して、「今日、何してた?」なんてたわいもない話をしています。でも、こういうことが本当は幸せでありますよね」

今回ナレーションを務めた映画『私は白鳥』でも、コロナで社会が大きく変わり、これまで当たり前だったことも、実は奇跡みたいなことだったと気づかされたそう。

「混乱がほんの少し落ち着いた今、今度は私たちがみんなの笑顔になつてもらう番。映画館に足を運んでいただき、やさしく、あつたかい気持ちで帰つていただけたら幸です」

『私は白鳥』で映画ナレーションに初挑戦した天海祐希さん。美しい富山の自然を背景に、気高くも傷ついた野生の白鳥を見守り、ひたすら世話を続ける一人の男性。何があつても変わらない、純粹な想いに心を打たれオファーを受けたといいます。天海さんにもまた、どんなときも貫き通しているものがありました。

# 天海祐希

*Yuki Amami*

Text: みやじまなおみ

Photos: 吉川信之

Hair & Make-up: 林 智子

Styling: 東知代子

衣装協力:  
シャツ、ニット／ラブローヨシエイナバ  
(TEL: 03-6861-7678)  
パンツ／モガ  
(TEL: 03-6861-7668)  
イヤリング／ドレスアンレーヴ



Vol. 139



吉井省一

かぶに寒鰯を  
挟み込んだ  
冬の金沢伝統の郷土食  
麹は粂という字を使うこ  
とがありますが、米を使う  
麹には「粂」が使われるこ  
とが多いので、今回はこち  
らを使わせていただきます。



清生会の「病院・施設」がある  
県内の市町村

**国** を象徴するものに国旗や  
国歌があります。日本な  
ら日の丸や君が代。同様に、國  
花といえば桜と菊、國鳥はキジ、  
國魚は鮎、國蝶はオオムラサキ。  
実はこの他に、國菌なるものも  
あるのです。國を象徴する菌、  
麹菌は日本酒、しょうゆ、みそ、  
麹菌は日本酒、しょうゆ、みそ、  
みりんなど日本の食文化の中核  
をなす発酵食品の製造に欠かせ  
ないものです。最近では、チュー  
ーブ入りの塩糀の調味料なども  
人気。もちろん、食の世界だけ  
でなく、美容や健康の分野でも  
今注目を集めています。

この麹菌の恵みを生かして昔  
から金沢で作られているのが  
「かぶら寿し」。寿しと言つても、  
かぶら寿しにし  
たかぶで同じ  
く塩漬けの鰯  
を挟み、米糀  
に漬け込んで  
発酵させたも  
の。魚を塩と米飯で乳酸発酵さ  
せる「なれずし」と称されてい  
るものの中間です。地元ではお  
正月やお祝いの席のごちそうと  
して、家庭で作っていた郷土  
料理のひとつ。使う魚は鰯が多い  
のですが、鰯を使う地域もある  
ようです。

明治8年に創業した金沢市の  
「四十萬谷本舗」はもともとお  
しょうゆ屋さんで、発酵食品の  
契約農家とともに土作りからこ  
だわって育てたかぶら寿し専用  
の「百万石青首かぶら」。生で

かじると柿のような甘さがある  
と言われています。鰯はこの寒  
い季節ならではの脂がたっぷり  
のった天然鰯。仕込みに使う水  
も白山山系の清冽な地下水を使  
っています。

寒さが厳しければ厳しいほど

糖度を高めて甘くなるかぶも、

極寒の海の荒波にもまれて脂が

のった鰯も、どちらも冬の北陸

ならではの食材。これらを米糀

に漬け込むことで、麹菌が作

出す分解酵素が魚のたんぱく質

をアミノ酸に分解して濃厚な旨

みを引き出すのです。厳しい冬

を乗り越えるごほうびを兼ねた

## 51 かぶら寿し

《四十萬谷本舗》  
金沢市



鰯の上質な生ハムのような熟成感ある塩味と、  
かぶの甘みとを、糀が絶妙にまとめ上げている



主役を務めるのが、自社農場で収穫されるかぶ（百万石青首かぶ）と、脂の乗った10kg前後の天然ものの国産鰯

よしい・せいいち コピーライター・作詞  
家。老舗百貨店の食の通販誌では約30年  
にわたって執筆に携わり、全国各地を取材。  
試食した食品の数は1万点を超える。



北陸で唯一の種麺店、石黒種麺店に専用に依頼した  
糀を、四十萬谷本舗の職人がかぶら寿しの旨みを引き  
出すように、さらに育み仕上げる

格好の保存食だったのではない  
でしょうか。

### 乳酸発酵から生まれる まろやかな旨みに舌鼓

さあ、それでは百万石の食都  
金沢の冬の美味へ、いざ箸を伸  
ばしてまいりましょう。くれぐ  
れも糀は洗い落とすことなきよ  
う。包丁で切り分ける時は、扇  
型に切ると見た目も美しく盛り  
付けられます。

金沢生まれの文豪室生犀星  
は、かぶら寿しが食卓に上がる  
と、家族に「はやく食べないと  
風邪をひいてますくなる」と言  
つていたそう。風邪をひくとは  
発酵が進んで酸味が強くなると  
いうことなのでしょうが、最近  
は、かぶら寿しが食卓に上がる  
と、家族に「はやく食べないと  
風邪をひいてますくなる」と言  
つていたそう。風邪をひくとは  
では強い酸味を好まれる方もい  
ります。でも、それでもお勧め  
です。何はともあれ、早めにひ  
と口。うん、まだ風邪はひいて  
いるみたいで、酸味を好まれる方  
もいるとか。それでも、



正月、お屠蘇のちょっと贅沢な相棒  
としてもお勧め

昔から鰯は成長につれて名前  
が変わる「出世魚」として愛さ  
れてきた縁起物。いろいろあつ  
た一年でしたが、鰯を食べて縁  
起をかつぎ、来年こそぜひ飛躍  
の年にしたいものです。

金沢生まれの文豪室生犀星  
は、かぶら寿しが食卓に上がる  
と、家族に「はやく食べないと  
風邪をひいてますくなる」と言  
つていたそう。風邪をひくとは  
発酵が進んで酸味が強くなると  
いうことなのでしょうが、最近  
は、かぶら寿しが食卓に上がる  
と、家族に「はやく食べないと  
風邪をひいてますくなる」と言  
つていたそう。風邪をひくとは  
では強い酸味を好まれる方多い

ですが、それでもお勧めです。  
何はともあれ、早めにひと口。  
うん、まだ風邪はひいてる

強い酸味を好まれる方多い  
です。でも、それでもお勧めです。  
何はともあれ、早めにひと口。  
うん、まだ風邪はひいてる



かぶら寿し2袋【箱入り】[250g(約2枚)×2袋]  
3,591円(税込・送料別) 賞味期限……冷蔵10日

### お取り寄せ・お問い合わせは

四十萬谷本舗

TEL: 0120-41-4173 FAX: 0120-86-4408

〒921-8541 石川県金沢市弥生1-17-28

営業時間: 9:00 ~ 17:00 (日祝日除く)

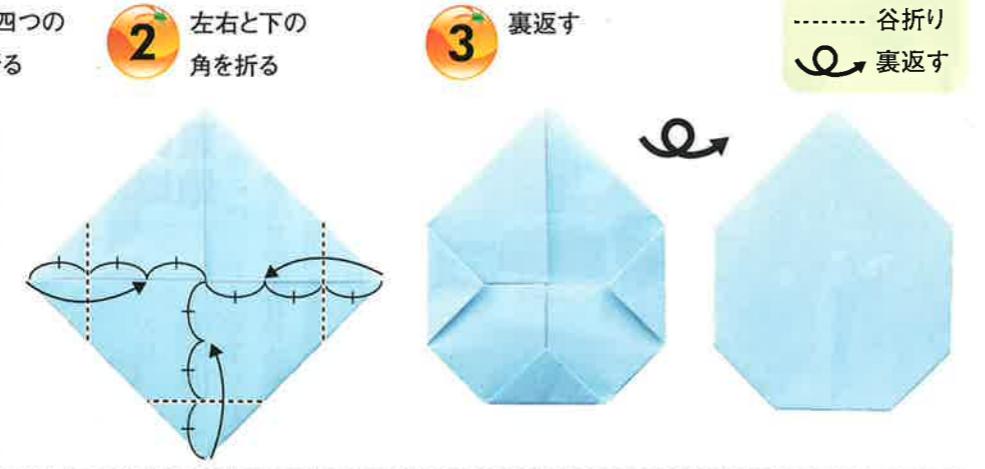
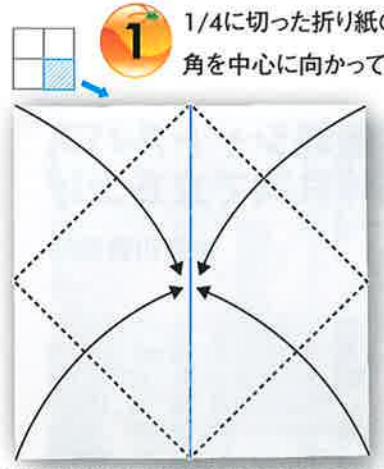
ホームページ: <https://www.kabura.jp/>



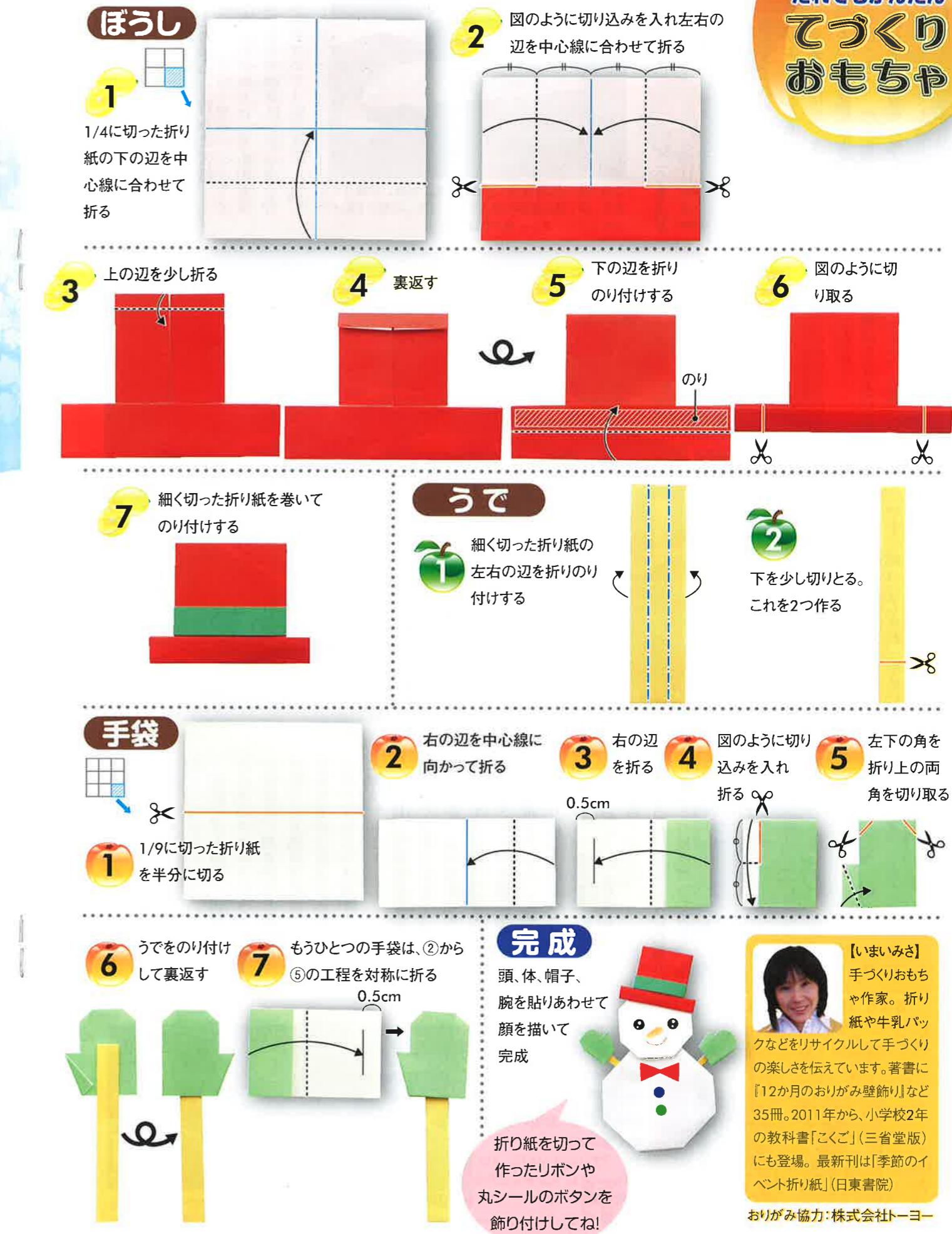
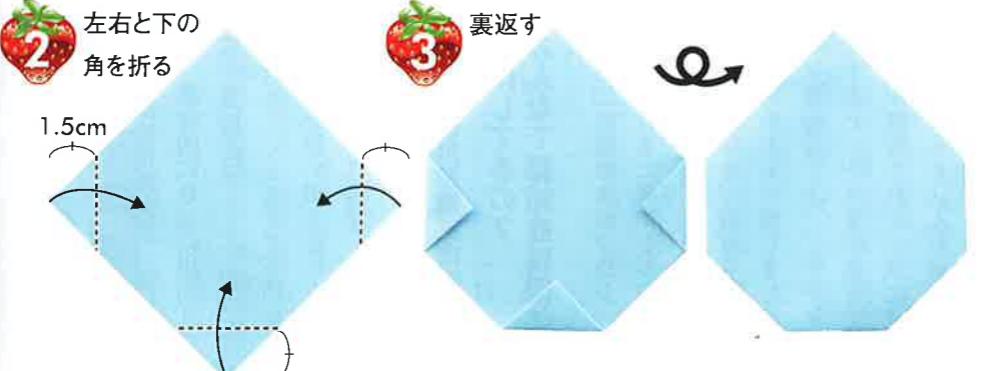
# 寒さに負けない元気なゆきだるま



## 頭



## 体



だれでもかんたん  
てづくり  
おもちゃ



【まいみさ】  
手づくりおもちゃ作家。折り紙や牛乳パックなどをリサイクルして手づくりの楽しさを伝えています。著書に『12ヶ月のおりがみ壁飾り』など35冊。2011年から、小学校2年の教科書「こくご」(三省堂版)にも登場。最新刊は「季節のイベント折り紙」(日東書院)

おりがみ協力: 株式会社トヨー

医工連携フォーラム in 飯塚を11月1日、飯塚市内のホテルを会場にオンライン参加とのハイブリッド形式で開催しました。

## 企業と一緒に考える 社会に役立つものづくり

〈福岡〉飯塚嘉穂病院

(済生記者 荒木愛美)

を生かして接していくます。

（済生記者 荒木愛美）

本体験会を通して、認知症に対する見方が大きく変わりました。今後認知症の人と関わる際には、今回の学びを生かして接していくます。

（済生記者 荒木愛美）

た。医療現場の困りごと・ニーズを販・ものづくり企業につなげ、医療安全・医療の質・まちづくりの推進を目指すもので、今年で5回目です。

基調講演・セミナーに続き、トークセッションでは、飯塚病院・飯塚市立病院・当院がパネリストとして登壇。経営企画室の春口勇介室長が、済生会の役割や当院のニーズを発表し、各

病院で活発に意見交換しました。当院は、一般企業が取り組みやすいよう、マスクと災害時の食事のニーズを強調。コロナ禍で医療が注目される今こそ、企業とともに課題を解決する大切さを訴えました。

毎年感じるのは一般企業から



参加者は一様に「すごい！」と声を上げました。

動画は全部で三つ。

シルバーウッド社は千葉県でサ高住を運営しており、その入居者の実体験に基づきリアルな映像です。認知症の人々に見えていた世界を再現し、何が不安や恐怖の要因になっているのかを丁寧に描いています。たくさんの発見・気づきを参加者で共有できました。

本体験会を通して、認知症に対する見方が大きく変わりました。今後認知症の人と関わる際には、今回の学びを生かして接していくます。

（済生記者 荒木愛美）



## 救急車もハロウィーン

長崎病院

の済生会に対する期待の大きさ。みんなで、共通課題を解決して、社会に役立つものを作り上げていきたいです。

（済生記者 松岡亜希）



長崎病院は、地元の新大工町商店街で10月30日に開催されたハロウィーンパーティに救急車で参加しました。

当院は、新たな救急車購入のためのクラウドファンディングに挑戦。その宣伝も兼ねて、救急車の内・外装にハロウィーンの飾りつけをしたところ大人気でした。お子さんを中心

100人を超えるみなさんが、救急車を見たり乗ったり。めったに触れる機会のない救急車から「降りたくない」と泣き出しました。

田上富久長崎市長も視察に来られ、商店街振興組合理事長の粋な計らいで、市長を前にステージ上で宣伝をすることができました。

11月29日までの予定だったクラウドファンディングは、おかげさまで、期限の2週間前に目標金額1,300万円を達成。たくさんのご支援をいただき、ありがとうございます。新車の救急車は来年お披露目予定です。（経営企画室室長・事務次長 奥川政彦）



神奈川県病院が関係機関と連携して病院の送迎車両を活用した無料の買い物支援サービスを開始

# topics

## 買い物支援の無料シャトルバス 地域の関係団体共同で立ち上げ

神奈川県病院



院は、10月から町内会や福祉協議会などと連携してシャトルバスを使つた無料の買い物支援サービスの試験運用を始めました。この取り組みは、バス路線の廃止などで買い物に不便を感じている住民を救おうと、横浜市神奈川区斎藤分町の南部地域で実施。当院が所有する透

スを使った無料シャトルバスにてシャトルバスで買い物に不

便を感じている住民を救おうと、横浜市神奈川区斎藤分町の南部地域で実施。当院が所有する透

事業の運営には、済生会本部のソーシャルインクルージョン補助金も活用しています。今後は来年度からの本格実施に向けて関係者で停留所や運行ルートを検討していきます。

（医療福祉相談室長 鎌村誠司）★「積極的に地域に出向き、病院の敷居を低くしたい」。今年1月号「NEWSな済生人」の取材を思い出しました。

（本部広報室 河内淳史）

## なにてるの？ みんなで認知症疑似体験

認知症疑似体験プロジェクトを手掛ける（株）シルバーウッドが主催するVRを用いた認

知症体験会を、11月9日に当院多目的ホールで催しました。

VR機材とヘッドホンを装

着すると、それまで見えていた景色が遮断され、一気に認知症の世界に入り込んだ感覚になりました。

（医療福祉相談室長 鎌村誠司）★「積極的に地域に出向き、病院の敷居を低くしたい」。今年1月号「NEWSな済生人」の取材を思い出しました。

（本部広報室 河内淳史）

# topics



## 支援学校3年生が職場実習

〈山口〉貴船福祉センター

山口県立下関  
南総合支援学校

高等部3年生が、  
来年度の就職に  
向けた職場実習  
にきました。

実習は、特養  
の清掃業務でス  
タート。午前中  
はフロアのモッ  
プかけ、午後は  
玄関ロビー・廊  
下・トイレの掃  
除、窓拭きなど  
を体験しました。利用者さんや  
職員から「きれいになつたね」  
と声をかけられると、照れ笑い  
していたのが印  
象的です。

15時からはデ  
イサービスセン  
ターで、利用者  
さんのおやつを  
盛り付け、お茶  
を配膳しました。  
利用者さんと会  
話が弾み、歴史  
の話で盛り上がる  
一幕も。  
実習中は笑顔  
を絶やすことな  
く、熱心に取り

しの献立も計画中です。

栄養部の浅田由紀子技師長  
は、「病院食でも、ひと手間加  
えて、家庭で食べるような料理  
を楽しんでもらいたい。地産地  
消にこだわっています」と話す  
ます。その上で、体調によって  
「食欲がない」「食事を楽しむ気



「おいしい季節の味は  
久しぶりで懐かしかった」とい  
う患者さんの感謝の声が、職員  
の励みになっています。

（済生記者 山川友和）



## 草刈りお助け隊 出動！

金沢病院

金沢病院では医師・  
医療技術職・事務職員  
24人の有志「草刈りお  
助け隊」が3階庭園に  
集まり、10月30日の早  
朝から草刈りと植木の  
剪定、清掃作業を行な  
いました。草刈りお助  
け隊は、7月の駐車場  
周辺の草刈りに続く出  
動です。

夏の間に伸び放題と  
なった雑草を一掃する  
と、患者さんの散歩コ  
ースにもなる庭園は、  
見た目もすっきり歩き  
やすくなりました。  
コロナ禍で職員の交  
流イベントがことごと  
く中止となる中で、草  
刈り作業は職員同士の  
気持ちのつながりを感じられる貴重な時間で  
した。これからも職員  
一丸となつて、患者さ  
んの心地よい空間の創  
造に努めています。

（済生記者 山川友和）

奈良病院は、地域の医療従事  
者と当院スタッフが意見交換  
する多職種連携会議を11月4  
日、院内で開催しました。緊急  
事態宣言が解除されたことで、  
2020年1月の事例検討会  
以来、ようやく集まることがで  
きました。

当院が地域の診療所医師・歯  
科医師・介護支援専門員・訪問  
看護師・地域包括支援センター

当院の佐々木義明副院長も、  
県下のコロナ感染状況や当院の  
陽性患者治療の状況などを報告。  
第6波に備える活発な意見交換  
ができました。

（地域福祉支援室 川向 透）

季節感を感じづらい入院生活  
で、旬の地元食材を使った食事  
は、患者さんの心を癒やします。  
金沢はカニのおいしい季節を迎  
え、カニや加賀レンコンの蓮蒸

組んだ生徒さん。この職場体験  
が少しでも自信につながり、就  
職へ前向きになる一助になれば  
幸いです。

（済生記者 藤岡みゆき）



## 病院でも季節の味を 地産地消で見た目も工夫

銀杏やユリ根の入った秋の茶  
碗蒸し、レンコンのごまサラダ

…11月のある日の入院患者さ  
んの夕食です。金沢病院では主  
に緩和ケア病棟で、毎週木曜日

（石川）金沢病院





# topics

うれしい再会をまた次も

当院かかりつけのがん患者さんのアピアランスケア相談会を10月27日、化粧品・スキンケア事業のポーラと共催しました。これは、がん対策基本法の理念「がんとの共生」の実現を目指したイベント。アピアランス（外見）ケアは、抗がん剤などによる外見の変化に対するケアで、治療による肌トラブルや気持ちの変化など、患者さんの苦痛を和らげるよう支援します。

普段はがん患者さんの不安や悩みの相談に応じるがん相談支援センターの部屋が、この日はサロンのような雰囲気に一転、鏡とメークパレットが並び、艶肌の作り方やポイントメークのコツなどのメークアップレッスンをマンツーマンで実施。いつも違う自分になつた参加者は

美容プロの技で笑顔

アピアランス

おまつりでお出かけ気分

おまつりでお出かけ気分

みかわ青い鳥まつりを、昨年  
同様、入所者さんと職員のみで、  
10月16日に開催しました。

悩みの相談に応じるがん相談支援センターの部屋が、この日はサロンのような雰囲気に一転、鏡とメークパレットが並び、艶肌の作り方やポイントメークのコツなどのメークアップレッスンをマンツーマンで実施。いつも違う自分になつた参加者は

かけ先」。各病棟や通園部門がテーマに沿って作成した作品を展示。職員もゲームや体験のブースを出して、入所者さんにお出かけ気分を楽しんでもらえるよう工夫しました。

者さんの笑顔が見られました。  
みんなで作った力作は、まつ  
りが終わった後も飾ったままで、  
通園・外来するみなさんにも楽  
しんでもらっています。来年こ  
そは、以前のようく保護者や地  
域のみなさんも参加できるまつ  
りができるよう頑っています。



養・低体重が課題で、在宅療養時も必要栄養量確保が大事です。訪問看護・訪問リハビリの担当者は、利用者さんの低栄養・低体重のリスクに目を向け、食のアセスメントをしつかりと行な

## インフルエンザ対策も重要 職員向けワクチン接種

日田病院は、職員対象のインフルエンザワクチン予防接種を10月28日から始めました。コロナ禍以降は、インフルエンザ患者の発生数が減少しています。新型コロナ感染対策で普

「平氣」という考えは危険です。当院は職員へのインフルエンザ予防接種を進め、患者さんに安心して医療を提供できるように努めています。

護師5人・PT1人、OT1人、事務員1人の8人が参加。在宅での経調栄養剤の服用実態と、創傷治癒促進に向けた栄養治療の効果を学びました。



歩き、その歩数ががん征圧の募金につながるという、コロナ禍ならではの新しいイベントです。日田病院では募金活動を実施短期間の呼びかけにも関わらず、たくさんの方々の募金が集まりました。筆者らは職員家族から提供されたかわいらしい絵と、メッセージ入りのルミナリエ工も携え、会

A photograph showing a person's hands wearing purple nitrile gloves and a green surgical-style gown. The person is working at a stainless steel bench, holding a small clear vial with a red cap in one hand and a clear plastic syringe in the other. There are other small containers and a piece of paper on the bench.

# 野の花

## 奈良訪問看護ステーション 1年半ぶりの集合研修

## うれしい再会をまた次も

大分日田病院

〔奈良〕訪問看護ステーション



# topics



## 看護師のいろいろのケア

山口県看護協会が山口県の委託で実施する「看護職のこころ

アドバイス導入の様子は、地元テレビ局や新聞社などが取材し、報道されました。

(済生記者 川原彩花)

## 〈山口〉下関総合病院

## 看護師のいろいろのケア

山口県看護協会が山口県の委託で実施する「看護職のこころ

アドバイス導入の様子は、地元テレビ局や新聞社などが取材し、報道されました。

(済生記者 川原彩花)

## 〈滋賀〉済生会看護専門学校

### 笑顔あふれるなでしこ祭

なでしこ祭（学校祭）を10月30日に開催しました。

昨年はコロナ禍で中止しましたが、今年度は密を避けるアイデアを、実行委員が何度も会議を重ねて工夫しました。テーマは「It's笑（show）time～繋げよう笑顔の橋を～」。一人ひとりがほかのだれかを思



(済生記者 井上弥生)

います。  
待ち時間解消プロジェクトのリーダー・大久保泰宏副院長は「患者さんの不安が少しでも軽減されるよう、快適に受診できる環境をさらに整えていきたい」と今後に向けて意欲的です。

アドバイス導入の様子は、地元テレビ局や新聞社などが取材し、報道されました。

(済生記者 川原彩花)

のケア～ケアする人にはたたかわなケアを～」を10月19日に当院講堂で開催し、当院の看護師や事務職、検査部門などの約60人が参加しました。

これは、コロナ禍の看護師のメンタルヘルス支援を目的としたセミナーで、講師は公認心理師・臨床心理士の樹本俊哉さん。すぐ実践できるストレッチや不安などの対処法が紹介されました。

セミナー参加者は「あつという間に時間が過ぎた。もっと先生の話を聞きたかった」「話を聞いて気持ちが楽になりました。まずは自分の心の健康を維持していくために、できることをしたい」と述べていました。

(済生記者 新田和美)

待ち時間解消プロジェクトのリーダー・大久保泰宏副院長は「患者さんの不安が少しでも軽減されるよう、快適に受診できる環境をさらに整えていきたい」と今後に向けて意欲的です。

アドバイス導入の様子は、地元テレビ局や新聞社などが取材し、報道されました。

(済生記者 川原彩花)

のケア～ケアする人にはたたかわなケアを～」を10月19日に当院講堂で開催し、当院の看護師や事務職、検査部門などの約60人が参加しました。

これは、コロナ禍の看護師のメンタルヘルス支援を目的としたセミナーで、講師は公認心理师・臨床心理士の樹本俊哉さん。すぐ実践できるストレッチや不安などの対処法が紹介されました。

セミナー参加者は「あつという間に時間が過ぎた。もっと先生の話を聞きたかった」「話を聞いて気持ちが楽になりました。まずは自分の心の健康を維持していくために、できることをしたい」と述べていました。

(済生記者 新田和美)



中川浩一皮膚がんセンター長は10月19日、「日本皮膚病微毒圖譜」など土肥慶蔵に関する資料を福井県越前市に寄贈しました。

土肥慶蔵は、越前武生（現・越前市）で慶応2（1866）年に生まれ、15歳で上京して日本皮膚科学の発展に尽力し、多

く活動を行いました。

越前市では来年10月から、土肥慶蔵の特別展を武生公会堂記念館で開催する予定です。

(総務課課長補佐 小谷知広)



## 待ち時間を自由に 患者用スマホアプリを導入

宇都宮病院では11月1日、患者さん向けスマホアプリ「My Hospital」を導入しました。

診察の順番が近づくと、専用アプリをダウンロードした手持ちのスマートフォンに呼び出し通知が届きます。患者さんはそ

つて行動し、今しか作れない思ひ出を最高の思い出にして笑顔で乗り越えよう——という思いを込めています。

看護学生の「実習あるある動画」を各教室で公開。その後は学生がグループごとに、校内に設置したインスタ映えスポット

で撮影。最後は講堂に集合して、すことに不安を感じる人も少なくない中で、待ち時間の密の回避にもつながりました。

順番通知機能のほかに、入院費用のオンライン決済や、薬局への処方せん情報送信など、病院受診時に便利な機能も備えて

で撮影。最後は講堂に集合して、

メンバーと協力しながら12個の謎解きにチャレンジしました。

インスタ映えスポットで撮影した写真は、終了後にオンラインで鑑賞しました。みんなの笑顔いっぱいのなでしこ祭でした。

（済生記者 井上弥生）



## 皮膚科学の歴史的資料 越前市へ寄贈

### 〈大阪〉富田林病院

これまで待合室以外に、駐車場でもカフェでもレストランでも、好きな場所にいられます。コロナ禍では、待合室で長時間過ご

大な功績を残した医師です。その業績の一つが「日本皮膚病微毒圖譜」（明治36年刊）で、皮膚疾患の病変を肉筆で見事に描寫したもの。カラー写真がない時代には、皮膚科学の研究・教育の現場で非常に有用でした。

今日、全帙（すべての書冊）がそろった状態で保管されているものは珍しく、とても貴重な資料で、寄贈の際は越前市職員に立ち合っていただきました。

越前市では来年10月から、土肥慶蔵の特別展を武生公会堂記念館で開催する予定です。

## 〈岡山〉吉備病院 みなさんの心を和ませたい

10月15日の夕方、職員19人に難波洋一郎院長も参加して、当院駐車場の花壇にナデシコを植えました。病院周辺に済生会の象徴・ナデシコを植栽し、心の和む環境をつくろうという事務部の発案です。

参加した職員は「地域住民や患者さんの癒やしになつたらいいな」「地域の人たちに、ナデシコの花の美しさを知つてもらいたい」と話していました。



植栽したナデシコは、病室からも外来フロアからも見えます。当院は国道180号線沿いなので、車中や通行人など、多くの人の目にとまります。「吉備病院はきれいな花のある癒やしの空間だ」と言つてもらえたらしいなと思っています。

(済生記者 野上達矢)

## 〈鹿児島〉川内病院 収穫の多い机上災害訓練

毎年恒例の大規模災害(受け入れ)訓練を11月6日実施しました。コロナ禍のため昨年に続き机上訓練としました。

平日の診療時間帯に、震度6強の地震が発生と想定し訓練開始。前半は地震発災後の各部署の初動行動要領を確認。部署ごとにテーマを協議・発表し、新たな課題も把握できました。

後半は、災害拠点病院の役割である多數の負傷者受け入れ訓練を実施。複数パターンの負傷者を設定し、トリアージから処置完了までの各ゾーンの行動要領、本部への情報伝達や本部の役割などを確認しました。

今までの行動訓練を机上に置き換え一つの部屋で訓練したた



め、一連の流れを確認しながら進められ、気づきの多い訓練でした。済生会本部職員2人に参加してもらい、災害時の対応方法のアドバイスや訓練の総評、マニュアル内容に関する指導も得られ、非常に有意義な訓練となりました。

(総務課 久木野周作)

## MA78人がオンラインで議論 川内病院

今年度2回目の済生会MA会オンラインセミナーを11月6日に開催し、19施設78人の

なさん感動していました。ぜひ、またお呼びたいです。

(済生記者 大森 智)

## 訓練から自分で考えて動く 川内病院

当院は、2020年11月の

このうち「医師の承認(確定操作)」では、「私たちの代行業務に対する医師の承認は、医療の安全性の確保や診療録の適正化はもとより、万が一の医療事故の際にMA自身を守る観点



MA(メディカルアシスタント)が参加しました。

前のアンケート結果から、「医師の承認」「32時間研修」「スタッフの配置部署とローテーション」の三つを議題にあげ、4病院(宇都宮・京都府・西条・川内)の代表者でパネルディスカ

## 〈佐久〉佐久市特養 シルバーランドみつい

### 野沢北高吹奏楽が生演奏

佐久市の野沢北高校の吹奏楽班を10月30日にお招きし、演奏会を開きました。

「からも大変重要」という意見がたくさん出ました。

その後は「関係部署との業務の線引き」について議論。MAと関わる看護部・医事課・薬剤部・連携室との業務の線引きをどのように行なつていいかなどについて、参加者全員でディスカッションしました。

(済生記者 竹之内美和)



「練習成果を発表する場が限られている状況で……」と恐縮していました。

披露されたのは、「時代劇メドレー」や「上を向いて歩こう」など全6曲。おなじみの曲ばかりで、入居者さんは手拍子をしたり手を振ったりしながら聴きました。

ながらも、演奏は大迫力。み

(済生記者 佐藤新二)

# topics

## 糖尿病を もつと知つてほしい！

（大阪）中津病院

11月14日の「世界糖尿病デー」にあわせて、病院の正面玄関に青色の電飾「ブルーサーカル」を施しました。

当院では毎年この日に糖尿病予防の啓発イベントを実施していましたが、新型コロナの影響で今年も開催を断念。それでも、少しでも世界糖尿病デーを知つてほしいという

スタッフの思い

とインスリンの

発見から100

年を記念してライトアップを実

施しました。

さらに、糖尿

病内分泌内科外

来前には、スタ

ッフが手作りし

たハートの「ブ

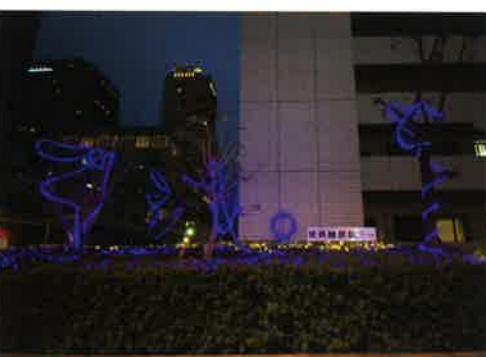
ルーサークル」

と糖尿病内分泌

内科のオリジナ

ルキャラクターを飾りました。

糖尿病予防の啓発とともに、来年こそは新型コロナが終息に向かい、イベントを開催できる



リアアップを考える看護師を育成するために、今後もサポート体制を継続していきたい」と話していました。

（済生記者 久原市子）

「みんなで日指そう認定看護師（何でも相談会）」を、10月30日に南棟2階講堂で開き、当院職員26人が参加しました。

これは、認定看護師等の資格取得を支援するため、当院の認定看護師会が主催。認定看護師による講演に続き、各ブースで相談会を行いました。

看護の質向上のためには、認定看護師や専門看護師の活躍が欠かせません。主催した看護部担当者は「専門性を高め、キヤ



## 認定看護師何でも相談会

（済生記者 久原市子）

## 中津病院

## 目指せ！患者の食生活向上

（滋賀）守山市民病院

当院は昨年度から、摂食・嚥下障害看護の研修をシリーズで行なっており、今年度は全8回の実施を予定しています。

企画したのは、松永哲人副師長（摂食・嚥下障害看護認定看護師）を中心とする摂食嚥下・口腔ケアチーム。集合研修は人數を制限し、その内容を編集した動画を院内ネットワーク上で

下障害看護の研修をシリーズで行なっており、今年度は全8回の実施を予定しています。

看護会を行なっています。

看護の質向上のためには、認定看護師や専門看護師の活躍が欠かせません。主催した看護部担当者は「専門性を高め、キヤ



感じられます。

「看護力向上を目指し、ゆくゆくは院内認定制度を作りたい」と松永副師長。「一人でも多くの患者さんの食生活がよくなることを期待しています。

（済生記者 中嶋元香）

## うした楽しい食の体験を、これからも大切にしていきます。

（済生記者 河野敦子）

## 園児58人と職員18人で、11月11日に天ぷらパーティーをしました。

道具は、この日のために園の裏庭で大切に育ててきたサツマイモです。お芋掘りのときは、「わあ、大きい」「見て見て、お芋の赤ちゃん！」と、お互いに見せ合つて大興奮でした。

子どもたちは、保育士が手を添えながら慎重に、ピーラーを使つた皮むきにも挑戦。そのサ

ツマイモを、ホールに集まつた子どもたちの目の前で園長が揚げていきます。揚げたてのおいしさは格別。園児たちは「おかげ！」「たくさん食べました。

「自分たちで収穫し、調理に参加し、みんなと食べる」——こ

## うした楽しい食の体験を、これからも大切にしていきます。

（済生記者 河野敦子）

## 園児58人と職員18人で、11月11日に天ぷらパーティーをしました。

道具は、この日のために園の裏庭で大切に育ててきたサツマイモです。お芋掘りのときは、「わあ、大きい」「見て見て、お芋の赤ちゃん！」と、お互いに見せ合つて大興奮でした。

子どもたちは、保育士が手を添えながら慎重に、ピーラーを使つた皮むきにも挑戦。そのサ

ツマイモを、ホールに集まつた子どもたちの目の前で園長が揚げていきます。揚げたてのおいしさは格別。園児たちは「おかげ！」「たくさん食べました。

「自分たちで収穫し、調理に参

加し、みんなと食べる」——こ

がお菓子をプレゼントした後、

デイケアの近くまで来てもらい、利用者さんは施設の中からかわいい姿を見てもらうことになりました。

「トリック・オア・トリート！」

元気な声も、かわいいカボチャおばけの姿も見ることができ、利用者さんは「あら～かわいいねえ」と笑顔。

来年は窓越しでなく、かわいいおばけたちと触れ合つてたくさんいたずらされたいなど、みんなで願っています。

（主任支援相談員 伊藤君香）

公開し、いつでも誰でも見られるようにしています。

コロナ禍の今は座学が中心で視鏡検査）を用いた実地研修も復活させる計画です。

研修受講後には参加者からの相談や問い合わせが増えるなど、摂食・嚥下障害に対する意識が病院全体に根付いてきたことが



## 天ぷらパーティー

（愛媛）松山乳児保育園

## 園児58人と職員18人で、11月11日に天ぷらパーティーをしました。

道具は、この日のために園の裏庭で大切に育ててきたサツマイモです。お芋掘りのときは、「わあ、大きい」「見て見て、お芋の赤ちゃん！」と、お互いに見せ合つて大興奮でした。

子どもたちは、保育士が手を添えながら慎重に、ピーラーを使つた皮むきにも挑戦。そのサ

ツマイモを、ホールに集まつた子どもたちの目の前で園長が揚げていきます。揚げたてのおいしさは格別。園児たちは「おかげ！」「たくさん食べました。

「自分たちで収穫し、調理に参

加し、みんなと食べる」——こ



## カボチャおばけだじょ

（愛媛）今治老健希望の園

## 園児58人と職員18人で、11月11日に天ぷらパーティーをしました。

道具は、この日のために園の裏庭で大切に育ててきたサツマイモです。お芋掘りのときは、「わあ、大きい」「見て見て、お芋の赤ちゃん！」と、お互いに見せ合つて大興奮でした。

子どもたちは、保育士が手を添えながら慎重に、ピーラーを使つた皮むきにも挑戦。そのサ

ツマイモを、ホールに集まつた子どもたちの目の前で園長が揚げていきます。揚げたてのおいしさは格別。園児たちは「おかげ！」「たくさん食べました。

「自分たちで収穫し、調理に参

加し、みんなと食べる」——こ

# topics



通じる連絡通路に避難しました。今回の訓練は、夜間に地震があり火災が発生したと想定。今年度は、災害時の連携が重要な地域住民にも参加いただきました。当センターは、夜間帯は夜勤職員2人で60人近くの入所者さへも避難誘導しなければなりません。複数事業所が一つの建物に入っているため、そうしたこ

2日目は各クラスがダンスを披露。3日目は1歳児が鳴り物を手に応援に駆けつけ、「チエツコリ」の曲に合わせて行なう「チエツコリダンス玉入れ」と、保育士によるパラバルーンを実施。最後に、佐藤富士江園長がメダルを授与して閉会しました。

うつのみやなでしこ保育園は  
10月19～21日まで、ミニ運動会は  
の代替行事で、なでりんピック  
2021を開催しました。

なでリンピック開催

なでしこ保育園



ターア成一部・同ライトホーム、  
静岡市発達障害者支援センター  
が合同で防災訓練を行ないまし  
た。

とも見据えた普段からの連携が  
重要です。

訓練の中で地区社協から「地  
域としても、もっと役に立った  
い」とありがたい申し出をいた  
だきました。今後も地域の行事  
などで交流を深めていきます。

# 静岡医療福祉センター 成人部

## 静岡医療福祉センター 成人部



どれもこれも世界の今治タオル  
高級ホテル仕様に「気持ちいい」

西条特養は、10月、施設内のすべてのタオルを今治タオルで統一しました。何か

**静岡医療福祉センターオン**  
**秋祭りで花火大会**

（済生記者 中野佳弥）

## どれもこれも 高級ホテル仕様

---

しでも入居者さんに喜んでほしいと考えました。

従来は、モーニングタオル、整容時のハンドタオル、入浴後のバスタオルなどは、すべて安価な輸入品を使用していました。しかし当地・西条市は、厳しい品質管理とブランド化によって国内外で高い評価を受ける、国内屈指のタオル生産地・今治市のすぐ隣。そんな土地柄の入居者さんは、「ご当地の自慢のタオルで快適に過ごしてもらいたい」と思いました。

高級ホテル・旅館でも採用される今治タオル。早速利用した入居者さんは「柔らかくて肌触りが気持ちいい」と、大変好評です。

お次第でテレーブルは酉臘しました  
おいしい料理の後は花火大会  
地域の花火大会がコロナ禍で中  
止され、この花火をみなさん樂  
しみにしていました。パチ、パ



## 区民まつりにWebで参加

地元・(横浜)神奈川区民まつりがWeb配信で行なわれることになり、当院は今回、二つの企画に参加しました。

例年は7万人を集客する区民まつり。当院も健康ステップやヘルシーサーティーアンダギーを出店していましたが、コロナ禍で反町公園での開催が見送られ、残念に思っていた中、Webで参加することになりました。

一つは、区内で活動する団体・企業の魅力を発信する「キラキラ☆かながわ」の動画です。この中で、整形外科の谷田部拓部長が「専門医が解説」あなたは大丈夫!骨粗しょう症」に登場。当院の骨粗鬆症チームと地域交流室で5分程度の動画に仕上げました。



もう一つは、神奈川区の現在と昔を写真で紹介する「かながわ今昔写真館」に、当院の昭和39年からの移り変わりを写真4枚で見せていました。

12月19日まで、神奈川区民まつり実行委員会のホームページ(<https://kuminmatsuri.kanagawa.jp/>)で配信されています。

(済生記者 杉山 正)

## 神奈川県病院

### 日曜日の乳がん検査が好評

神奈川県病院は、日本乳がんピンクリボン運動が呼びかける

「10月第3日曜日に乳がん検査を受けられる】J.M.S(ジャパン・

マンモグラフィー・サンデー)」に賛同し、10月17日にマンモグラフィーや乳房超音波検査を実施しました。

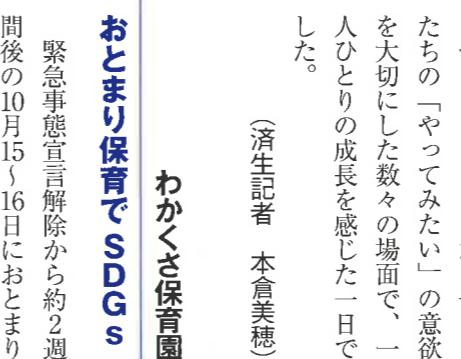
神奈川県病院は、日本乳がんピンクリボン運動が呼びかける「10月第3日曜日に乳がん検査を受けられる】J.M.S(ジャパン・

マンモグラフィー・サンデー)」に賛同し、10月17日にマンモグラ



## 今年はみんなで運動会

スマイルうんどう会を、天候に恵まれた10月30日に、感染対策を徹底するためクラス単位で実施しました。参加者は全園児とその家族合計188人。普段から楽しんでいる運動あそびを発表したりして、親子で一緒に体を動かしたりして、みんな満面の笑み。新型コロナの感染が落ち着いている中で人数制限しなかつた判断が、子どもたちにも、保護者や



(済生記者 本倉美穂)

## わかくさ保育園

大型遊具を園庭中央に移設してから初の大行事で、スペースの効率的な使い分けや遊具を活用した種目など新たな取り組みにもチャレンジしました。子どもたちの「やってみたい」の意欲を大切にした数々の場面で、一人ひとりの成長を感じた一日でした。

(済生記者 本倉美穂)

## おとまり保育でSDGs

緊急事態宣言解除から約2週間後の10月15~16日におとまり



当日は30代~80代の44人が

訪れ、検査のほか自己触診のDVDも視聴。検診の合間には、保健師や乳がん看護認定看護師が触診モデルの体験を案内し、質問にも答えました。

丁寧な対応でリラックスして受けられた」「日曜日は受診のよい機会だ」と、日曜日の乳がん検診は受診者に好評でした。

毎年開催する「日曜日を、さらに多くの女性に知つてもらひ、継続した受診につなげていけるように頑張ります。

(予防医療センター事務 井上亜由美)

## 神奈川県病院

### 日曜日の乳がん検査が好評

神奈川県病院は、日本乳がんピンクリボン運動が呼びかける

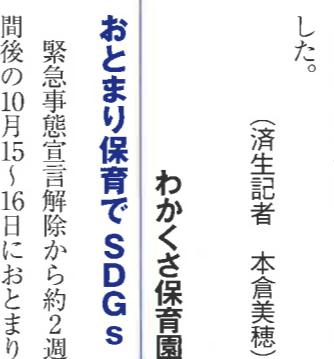
「10月第3日曜日に乳がん検査を受けられる】J.M.S(ジャパン・

マンモグラフィー・サンデー)」に賛同し、10月17日にマンモグラ



## 今年はみんなで運動会

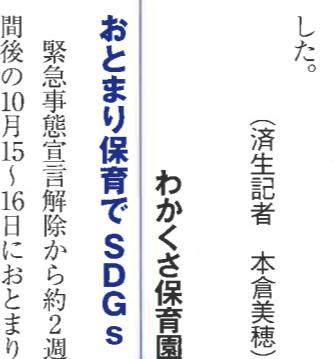
スマイルうんどう会を、天候に恵まれた10月30日に、感染対策を徹底するためクラス単位で実施しました。参加者は全園児とその家族合計188人。普段から楽しんでいる運動あそびを発表したりして、親子で一緒に体を動かしたりして、みんな満面の笑み。新型コロナの感染が落ち着いている中で人数制限しなかつた判断が、子どもたちにも、保護者や



(済生記者 本倉美穂)

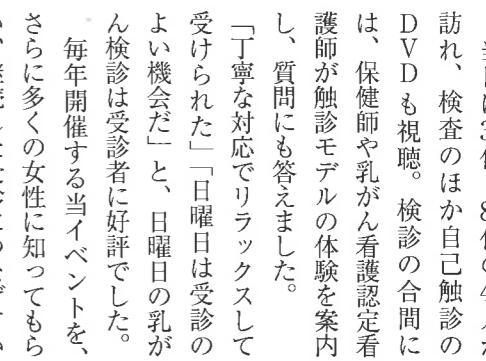
## わかくさ保育園

大型遊具を園庭中央に移設してから初の大行事で、スペースの効率的な使い分けや遊具を活用した種目など新たな取り組みにもチャレンジしました。子どもたちの「やってみたい」の意欲を大切にした数々の場面で、一人ひとりの成長を感じた一日でした。



## おとまり保育でSDGs

緊急事態宣言解除から約2週間後の10月15~16日におとまり



りに花が咲きました。  
例えば、買い物にはエコバッグを使用。ゴミもきちんと分別し、友だちも周りの人たちも気持ちよく過ごせるように、思いやりの心で行動しました。  
あつという間の1泊2日。家族と離れて泊りできた経験が自信となり、「なんでもやつて



保育を実施し、年長児10人が参加しました。  
テーマは「共通体験を通してクラスの団結力を深める」こと。活動メニューは、SDGsの考え方のひとつとして子どもたちが考案。買い物、夕食のピザ作り、宝探し、お化け屋敷など、楽しいものばかりで、おしゃべり

みよう」の行動力につながることを期待しています。

(済生記者 本倉美穂)

〈山形〉養護(盲)老人ホーム 山静寿  
視覚障害者の避難に課題も

特養山静寿と養護(盲)老人

ホーム山静寿は、11月2日に合同消防訓練を行いました。

はじめに月澤浩一施設長が防火研修を実施し、職員は火災発生時の心構えと具体的な行動を学びました。

参加した職員は、「訓練をして初めて気づくこともあった」「繰り返し訓練して体で覚える必要がある」「日頃から電気設備の点検を行なうことが大切」と振り返っていました。

(済生記者 丹 秀樹)



# topics



**目指せ石鎚山**  
西条老健いしづち苑

この秋、いしづち苑のゆるキャラができました。発端は、常光謙輔苑長が7月1日に「いしづち苑の魅力を広める、ゆるキャラを作ろう」と号令。職員から応募が殺到し、苑長の厳正な審査で、小松佐和子作業療法士の作品「いしづつあんといしづちちゃん」に決定しました。小松さんは「全ての利用者さんにとって、いしづち苑が石鎚

西条祭りなどを撮影する地域の業者さんに来てもらい、11月1日から撮影を開始。リハビリスタッフが筋力体操を、介護職は食事前の口腔体操と認知症予防体操を、不慣れな動画撮影に緊張しながら実演し、無事に撮り終えました。

順調にいけば、来年2月ごろ（？）には配布できそうです。デイケアや介護教室の利用者さん、在宅療養中の人々など、地域のみなさん幅広くお渡しし、健康管理に役立つDVDとして活用してもらいたいです。

（事務 大仲佳奈子）

この秋、いしづち苑のゆるキャラができました。発

## みんなでバルーン大成功！

（山形）はやぶさ保育園

はやぶさ（5歳児クラス）保護者懇談会、発表会を11月5日に行ないました。

今年のはやぶさのみなは、歴代の5歳児が力を合わせて競技用バルーンの発表をする姿に憧れ「自分達も挑戦したい」と希望。いざ、バルーンを行なつてみると「思うように動かせない」「膨らまない」と苦心し、

山のように頼りになり安心できる存在でいられるようにと願いを込めました」とコメント。ここ西条市で、幾千年前の長い間、私たちを守ってくれている靈峰・石鎚山。市民は敬愛の気持ちを込めて「いしづつさん」と呼ぶ山です。

早速「いしづつあんといしづつちゃん」をプリントしたボロシャツを全職員に支給し、制服として着用。利用者さんからも「かわいい」と好評です。小松さんの思いを職員一同で共有し、「いしづつあんといしづちちゃん」と一緒にいしづち苑を盛り立てていきます。

（事務 大仲佳奈子）



苑長の厳正な審査で、小松佐和子作業療法士の作品「いしづつあんといしづちちゃん」に決まりました。小松さんは「全ての利用者さんにとって、いしづち苑が石鎚

歴代の5歳児が力を合わせて競技用バルーンの発表をする姿に憧れ「自分達も挑戦したい」と希望。いざ、バルーンを行なつてみると「思うように動かせない」「膨らまない」と苦心し、

（済生記者 藤木智造）



奈良県桜井市を中心に奉仕活動に取り組む「やまとまほろばロータリークラブ」から11月11日、車いす3台が届きました。同クラブから当院への車いすの寄贈は7年連続で、合計30台に及びます。高齢化に伴い、車いすの需要が高まっていると実感する中で、同クラブの活動は当院の医療福祉活動に大きな力を与えてくれています。

贈呈式には、やまとまほろばロータリークラブの池側義嗣会長・熊本かよ子幹事・鍵竜二社会奉仕委員長・高橋久子看護部長・今川敦史パスト会長（奈良県済生会支部長）の4人が列席。当院からは中島祥介院長・辻内雅彦事務部長がお迎えし、感謝の言葉とともに感謝状・記念品を贈

## 地元ロータリークラブから7年連続の車いす寄贈

奈良県桜井市を中心奉仕活動に取り組む「やまとまほろばロータリークラブ」から11月11日、車いす3台が届きました。

同クラブから当院への車いすの寄贈は7年連続で、合計30台に及びます。高齢化に伴い、車いすの需要が高まっていると実感する中で、同クラブの活動は当院の医療福祉活動に大きな力を与えてくれています。

贈呈式には、やまとまほろばロータリークラブの池側義嗣会長・熊本かよ子幹事・鍵竜二社会奉仕委員長・高橋久子看護部長・今川敦史パスト会長（奈良県済生会支部長）の4人が列席。当院からは中島祥介院長・辻内雅彦事務部長がお迎えし、感謝の言葉とともに感謝状・記念品を贈

りました。

（総務課 松田みちる）

## 旧駐車場を8人で草刈り

2014年の病院建て替えまで、多くの職員が利用していました。

（三重）明和病院

（総務課 松田みちる）



当施設ではいま、感染予防しながら気軽に家庭で行なえる体操のDVDを作成中です。

コロナ禍で当苑でも夏祭りや多くの催し物が開催できることがないだろうかと職員全員で検討。数々のアイデアの中から採用した企画です。

江戸時代から続く伝統行事の



た旧職員駐車場の草刈りを10月17日に行ないました。建替え後は、職員の多くは新病院敷地内の駐車場を利用するようになつたため、旧駐車場は放置同然の状態。雑草が人の背丈ほども伸び、広範囲に生い茂っていました。およそ100メートル四方の草は、事務職員など8人で刈り取りました。日頃から施設内の草刈りをしている職員のほか、今回初めて草刈り機を使うという職員もいましたが、午前中でほぼ全体の草を刈れました。

草刈りを終えた旧駐車場は、前日までは見違えるほどきれいになりました。十分な駐車スペースになり、午前中でほぼ全体の草を刈れました。草刈り終えた旧駐車場は、前日までは見違えるほどきれ

## 家庭でレッツ体操！

（愛媛）西条老健いしづち苑

を確保できました。今後も病院の美化に努めています。



当施設ではいま、感染予防しながら気軽に家庭で行なえる体操のDVDを作成中です。

コロナ禍で当苑でも夏祭りや多くの催し物が開催できることがないだろうかと職員全員で検討。数々のアイデアの中から採用した企画です。

江戸時代から続く伝統行事の

# topics

グラムの改修など、さまざまなお題をクリア。なんとか全国での運用開始日にスタートできたものの、保険者による情報更新の遅れなど、制度自体の根本的な問題は残つたままであります。

マイナンバーカードの取得率の低さもあり、利用は低调。当院では、松阪市からの要請で患者・職員向けの取得申請会を11



たオンライン資格確認の運用を10月1日に開始しました。今後は、健康保険証としての利用や、薬歴情報・特定健診情報の閲覧も可能です。

導入までに、カードリーダーの不具合や、繰り返されるプロ

月11・12日の2日間、院内仮設

ベースで開催ましたが、それ

でも状況はあまり変わっていま

せん。現状の課題解消と利便性

向上を期待しながら、今後の展

開を見守っていきます。

(医療情報システム室  
松本泰宣)

## 第45回済生会フォーラム

第45回済生会フォーラムを11月13日に開催しました。

済生会フォーラムは三重県済生会支部を中心に、松阪総合病院で開催されました。

(臨床心理士 前田早奈美)

## 松阪総合病院

### 外国人にもわかりやすくデジタルサイネージ設置

「新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関等における外国人患者の受入れ体制確保事業」の補助金で9月17日、デジタルサイネージ（電子案内掲示板）を八つの病棟と一部の外来に設置しました。

外国人も受診しやすい病院へ



まず目立つこと、タイムリーに情報提供できること、たくさんのお情報を伝えられること。従来の掲示板でもたくさんのお情報を貼り出せますが、文字が小さくて見づらいのが欠点でした。

デジタル化が進んだ時代に合わせ、デジタルサイネージの画面にQRコードを載せて、スマートなどの端末でも情報を確認できる方法も検討しています。

(副院長 寺田尚弘)



「あと何回寝たら七五三?」と子どもたちが指折り数える中、当学園では、雨上がりの爽やかな秋晴れの11月10日に七五三詣を行いました。

今年の七五三は女の子と男の子が2人ずつで、職員が着付けや化粧を担当。施設内を一回りしてお披露目すると、職員から「きれいだね」「かっこいいよ」の声が飛び、子どもも大人もみんな笑顔になりました。

それから近所の神社へお参りに。道中、いつも温かく見守ってくれる地域のみなさんからもお祝いの言葉をいただき、子どもたちは笑顔が絶えません。神社の長い階段は、職員と手をつ

### みんな大きくなりました

（静岡）川奈臨海学園

ないで一歩ずつ登つて行きました。「二礼二拍手一礼を教わって、頑張りたいことを神様にお伝え見て、日々の生活を送る中で少しずつ背が伸び、顔つきもお姉さん・お兄さんらしくなってきたなあと成長を感じました。

（保育士 山田琴音）

### 「感謝の一一杯」 ごちそうさま

（三重）松阪総合病院

当院は、コロナと闘う職員を激励する「感謝の一一杯」を11月8～12日の5日間実施し、全職員にコーヒーとお菓子を提供しました。清水敦哉病院長、鶴森立美看護部長、山本幸治事務部長の3人が企画したイベントです。

コーヒーとお菓子は当院の講堂で提供。職員同士で時間を融通し、密を避けて受け取りました。コーヒーが苦手な職員にはジュースを渡しました。

午前の業務の後、「感謝の一一杯」でホットと一息つき、午後からの業務に励む姿がそこかしこに。職員は「いつものホットコ

院と明和グループとが協力し、毎年定例で開催しています。昨年度は見送りましたが、今年度は感染対策を徹底したうえで、演題数を8題に絞ったプログラムに変更して行ないました。

今回も、それぞれの病院や多職種の日々の業務の工夫などを知ることができます。今年のフォーラム賞は「COVID-19 感染症と向き合って」（松阪総合病院・山本明代看護師長）が選ばされました。

今回初めて、三重県済生会支部による支部職員表彰も行ない、学術・業績・功労の部門で合計12人の職員が表彰されました。

### マイナンバーカードが健康保険証として使えます

（松阪総合病院  
松本泰宣）



院長・看護部長・事務部長からお話を伺いました。

「ヒーよりも温かく感じるのは、真心と激励のメッセージのせいかな」と笑顔で答えてくれました。

改めて晴れ着姿の子どもたちを見て、日々の生活を送る中で少しずつ背が伸び、顔つきもお姉さん・お兄さんらしくなってきたなあと成長を感じました。

（保育士 山田琴音）

ハイビーよりも温かく感じるのは、真心と激励のメッセージのせいかな」と笑顔で答えてくれました。

院長・看護部長・事務部長からお話を伺いました。

改めて晴れ着姿の子どもたちを見て、日々の生活を送る中で少しずつ背が伸び、顔つきもお

## 有野北中から応援の声届く

兵庫県病院

有野北中学校の生徒さんから  
10月27日、「コロナに負けるな」  
という当院医療スタッフに向  
けの応援動画と応援メッセージが  
届きました。

「1年間以上コロナウイルスの  
対応をしてくださつてありがとうございます。常に危険とつな  
り合わせで大変だと思いますが、  
これからも頑張ってください。  
みなさんのおかげで安全に暮ら  
せていました」「これからも先の  
見えない日々が続くと思います  
が、私たち保健委員もコロナ対  
策に協力します」――。

これらの応援メッセージは、  
当院1階の時間外出入口付近に  
掲示しました。有野北中のみな  
さんの応援動画とメッセージは  
当院スタッフを元気づけ、何よ  
りの励みになっています。

（経営企画推進室 本田光子）



## 長野保育園

ハロウィーンのイベントを10  
月28日に行ないました。

3歳以上の園児は手作りサン



## 今年もおいしかったよ

〈山形〉特養愛日荘

家族会からの恒例のプレゼント  
で、楽しみにしていたブドウ  
が10月に届き、みんなでおいし  
くいただきました。

山形県はフルーツ王国。当施  
設では家族会から、初夏はサク  
ランボ、夏にはメロン、そして  
秋にはブドウとラ・フランスが  
毎年届きます。

「初物だね」「甘くておいしい」  
と、笑顔で食も進みます。農家  
だった入居者さんが「うちのブ  
ドウの方がうまいな」と言つた  
後に、どうやつたらおいしい果



（山形）特養愛日荘  
2021/10/16

## 合同祭り中止 施設だけで秋祭り

〈大阪〉障害者支援施設ふくろうの杜

ふくろう秋祭りを10月16日に  
行ないました。コロナ禍で泉尾  
医療福祉センター4施設合同の  
なでしこ祭りを中止し、代替行  
事として催したものです。  
目玉企画は、手づくりの縁日  
です。金魚すくいや風船  
割りなどのゲームで遊び、  
外部から招いたキッチン  
カーで食べて飲んで、お  
祭り気分を満喫しました。  
緊急事態宣言が続き日常  
の楽しみが少なかつた中  
で、久しぶりに利用者さ  
んに楽しんでもらえまし  
た。

済生会は全国に約  
400施設ありますが、  
ふくろうの杜のよう(知  
的)障害者支援施設は4  
施設。みなさんは馴染  
みが薄く、認知度が低い  
ことに歯がゆい思いをす  
ることもあります。これ

物ができるかとコツを語り出し、  
みんなで盛り上がるのも、この  
催しではよく見られる光景です。

ご家族に直接会うのはまだ難

（介護職員 奥山香奈）

「地域で取り組むACP（ま  
ずは『知る』からはじめます）」  
をテーマとした協議会を10月27  
日、当院講義室で対面とオンライン  
のハイブリッド形式で開催  
し、地域のケアマネジャーなど  
約100人が参加しました。

飯塚医療圏では自治体の協力

## 地域で取り組むACP

〈福岡〉飯塚嘉穂病院



（済生記者 海野 京）

グラスで仮装し、園内5カ所に  
隠して貼ったジャックオランタ  
ンを探して回るスタンプラリー  
を楽しみました。

1・2歳児も、かわいいカボ

チヤやオバケに変身。みんなで  
歌を歌つて、ハロウィーン気分

を楽しみました。

最後に、各自が画用紙で手作  
りしたバッグを持って事務室へ。

仮装した小林哲支部長と若狭知

子もいましたが、にぎやかで樂

しいひとときでした。

（済生記者 海野 京）

子園長に「トリック・オア・ト  
リート」と言って、ラムネを一  
つずつもらいました。

カボチヤに扮した園長先生に  
びっくりし、泣き出してしまっ

子もいましたが、にぎやかで樂

しいひとときでした。

## 長崎病院 はにかみお化けなら大歓迎

さわやかな秋晴れの10月29日、当院託児所は一足早いハロウィーンイベントを催しました。

子どもたちは、ビニール袋を

くりぬいた衣装に色画用紙を切り貼りした手作りのかわいい仮装で総務課までやってきました。保育士の「せーの」の掛け声を合図に、ハロウィンの合言葉「トリック・オア・トリート！」が元気よく響き渡りました。

子どもたちにお菓子を渡すと、とてもうれしそうに「ありがと」と元気よく響き渡りました。

子どもたちは、ビニール袋を

「う」とお礼を言つてくれました。

バッグや衣装を「かわいいね。先生と一緒に作ったの？」と聞くと、ちょっと照れてはにかみ、私たちもとても癒やされました。

(総務課 大川七海)



### 秋の味サツマイモご飯

各部署オリジナルのくす玉を対抗戦で割り、大いに盛り上がりました。カラフルなくす玉と衣装で入居者さんが楽しむ姿に、心が温まりました。最後は入居者さんと職員で集合写真を撮り、思い出の1ページをつくって閉幕しました。

(介護士 中澤麻由美)

ふじの里では、併設のなでしこ神戸の入居者さんが収穫したサツマイモで10月29日に調理レクリエーションを催しました。

入居者さん18人と職員4人で一緒に調理。丁寧にサツマイモ



### かわいいおばけ

(北海道 小樽病院)

院内保育所なでしこキッズクラブは10月29日、ハロウィーンパーティーを開催、なでしこキッズ26人が参加しました。コロナ以前は病棟や外来で、



患者さんにかわいい衣装をお披露していましたが、昨年も今年も保育所内だけで実施。子どもたちは、先生が手作りした赤・青・緑・黄・オレンジの色とりどりの衣装を身にまとい、かわいいおばけに変身! 2人一组で手提げ袋を持ち、先生のところへ。お菓子をたくさん詰めてもらおうと、子どもたちはうれしそうに何が入っているのか確認していました。

来年にはコロナが終息し、患者さんにもスタッフにも笑顔を届けてくれる、そんなすてきなハロウィーンになつたらいいな。

(済生記者 松尾覚志)



### 祝デイサービス30周年

〈兵庫 特養ふじの里

デイサービス

は11月1日に開設30年を迎え、利用者さん16人とお祝い式典を催しました。

30周年の盛り上げ方を担当職員8人で検討し、式典実施を決定。

「だつたら、くす玉割りに除幕式、テープカット、鏡開き、そしてだるまに目を入れよう!」と徹底することに。でも、そんな式典をするのはみんな初めてで、手探りで準備しました。

利用者さんは当日まで内緒にしていて、いつもと違うデイルームの様子にみなさんのドキドキが広がります。14時に司会者のあいさつでスタートした式典は、大きな歓声とたくさんの笑顔で和やかに進行。最後に、開設当時の写真をスクリーンに

映すと「今のフロアと全然違うね」「昔、この辺は山だったね」と盛り上りました。

ふじの里デイサービスが開設30周年を迎えたのは、利用者さんと地域のみなさんのおかげです。これからも地域に愛される事業所を目指し頑張ります。

(介護福祉士 上郡信隆)



### 特養ふじの里 2年ぶりの秋祭り

コロナ禍で昨年は中止した秋祭りを、今年は10月17日に、規模を縮小して開催できました。食事は屋台メニューをフロアごとに提供。催し物はホールで実施し、ふじの里の東館・西館

と、なでしこ神戸の入居者さんが参加しました。

準備は入居者さんと職員が力を合わせ、室内の飾り付けやおみこし・くす玉などをすべて手作り。くす玉対決では「コロナを断ち切る」の願いを込めて、





当センターの鎌田佳代子看護師はこのたび、肢体不自由児・者療育の領域で特に顕著な功績のあった人などに贈られる「ねむの木賞」を受賞しました。

鎌田さんは、1993年に看護師として当センターに入職。2004年には主任看護師長に任命され、永年にわたり障害児(者)に対する看護業務に従事し、医療と療育の現場指導、明るく親しみやすい鎌田さん

## 鎌田佳代子看護師がねむの木賞を受賞

### 愛知県青い鳥医療療育センター

新そば収穫の時期を迎え、信州そばで有名な長野県にある当施設は11月10日、恒例のそば打ちを2年ぶりに開催しました。

新規コロナの流行前は、毎年そば職人をお呼びしてそば打ち

打ち立てのそばは昼食で入居者さんに提供。今年は無事に、季節の味を楽しんでいただけました。

(特養部門主任介護職  
相原 洋)

の周りはいつも笑い声であふれています。ますますのご活躍をお祈りいたします。

(療育支援課主任保育士  
田口 幸子)

ピックで行なわれたボッチャやコ

ーナーなどが500人以上の

がりは途切れることなく紡がれ

ています。当センターもさまざま

な地域貢献やSDGs活動

を続けていきます。

(第二大正園園長  
飯田宏彦)

の周りはいつも笑い声であふれています。ますますのご活躍をお祈りいたします。

(療育支援課主任保育士  
田口 幸子)

が座長を務め、廣橋里奈副院長

が「新型コロナウイルス感染症の画像診断」について講演。閉

会のあいさつは、水野智恵美副

院長が行ないました。

次回は登録医との親睦を深め

るために、対面形式で開催で

きるよう願っています。

(済生記者 橋本 茜)

第15回登録医総会  
大正区吹田病院

総会を10月29日、当院東館センターホールで開催しました。今

回は感染防止のためWeb配信

を行ない、25人の登録医の先生方に参加いただきました。

第一部は島俊英院長、岡上武

名譽院長のあいさつでスタート。

地域医療支援部門の和田陽子部

長が医療連携報告・方針を述べ、

新任科長を紹介しました。

第二部では、竹中英昭副院長



第一部は島俊英院長、岡上武名譽院長のあいさつでスタート。地域医療支援部門の和田陽子部長が医療連携報告・方針を述べ、新任科長を紹介しました。

第一部では、竹中英昭副院長が座長を務め、廣橋里奈副院長が「新型コロナウイルス感染症の画像診断」について講演。閉会のあいさつは、水野智恵美副院長が行ないました。

次回は登録医との親睦を深めるために、対面形式で開催できることを願っています。

が座長を務め、廣橋里奈副院長が「新型コロナウイルス感染症の画像診断」について講演。閉会のあいさつは、水野智恵美副院長が行ないました。

次回は登録医との親睦を深めるために、対面形式で開催できることを願っています。

第15回登録医総会  
大正区吹田病院

総会を10月29日、当院東館セン

タホールで開催しました。今

回は感染防止のためWeb配信

を行ない、25人の登録医の先生方に参加いただきました。

第一部は島俊英院長、岡上武

名譽院長のあいさつでスタート。

地域医療支援部門の和田陽子部

長が医療連携報告・方針を述べ、

新任科長を紹介しました。

第二部では、竹中英昭副院長

が座長を務め、廣橋里奈副院長が「新型コロナウイルス感染症の画像診断」について講演。閉会のあいさつは、水野智恵美副院長が行ないました。

次回は登録医との親睦を深めるために、対面形式で開催できることを願っています。

第15回登録医総会  
大正区吹田病院

総会を10月29日、当院東館セン

タホールで開催しました。今

回は感染防止のためWeb配信

を行ない、25人の登録医の先生方に参加いただきました。

第一部は島俊英院長、岡上武

名譽院長のあいさつでスタート。

地域医療支援部門の和田陽子部

長が医療連携報告・方針を述べ、

新任科長を紹介しました。

第二部では、竹中英昭副院長

が座長を務め、廣橋里奈副院長が「新型コロナウイルス感染症の画像診断」について講演。閉会のあいさつは、水野智恵美副院長が行ないました。

次回は登録医との親睦を深めるために、対面形式で開催できることを願っています。

第15回登録医総会  
大正区吹田病院

総会を10月29日、当院東館セン

タホールで開催しました。今

回は感染防止のためWeb配信

を行ない、25人の登録医の先生方に参加いただきました。

第一部は島俊英院長、岡上武

名譽院長のあいさつでスタート。

地域医療支援部門の和田陽子部

長が医療連携報告・方針を述べ、

新任科長を紹介しました。

第二部では、竹中英昭副院長

が座長を務め、廣橋里奈副院長が「新型コロナウイルス感染症の画像診断」について講演。閉会のあいさつは、水野智恵美副院長が行ないました。

次回は登録医との親睦を深めるために、対面形式で開催できることを願っています。

第15回登録医総会  
大正区吹田病院

総会を10月29日、当院東館セン

タホールで開催しました。今

回は感染防止のためWeb配信

を行ない、25人の登録医の先生方に参加いただきました。

第一部は島俊英院長、岡上武

名譽院長のあいさつでスタート。

地域医療支援部門の和田陽子部

長が医療連携報告・方針を述べ、

新任科長を紹介しました。

第二部では、竹中英昭副院長

が座長を務め、廣橋里奈副院長が「新型コロナウイルス感染症の画像診断」について講演。閉会のあいさつは、水野智恵美副院長が行ないました。

次回は登録医との親睦を深めるために、対面形式で開催できることを願っています。

第15回登録医総会  
大正区吹田病院

総会を10月29日、当院東館セン

タホールで開催しました。今

回は感染防止のためWeb配信

を行ない、25人の登録医の先生方に参加いただきました。

第一部は島俊英院長、岡上武

名譽院長のあいさつでスタート。

地域医療支援部門の和田陽子部

長が医療連携報告・方針を述べ、

新任科長を紹介しました。

第二部では、竹中英昭副院長

が座長を務め、廣橋里奈副院長が「新型コロナウイルス感染症の画像診断」について講演。閉会のあいさつは、水野智恵美副院長が行ないました。

次回は登録医との親睦を深めるために、対面形式で開催できることを願っています。

第15回登録医総会  
大正区吹田病院

総会を10月29日、当院東館セン

タホールで開催しました。今

回は感染防止のためWeb配信

を行ない、25人の登録医の先生方に参加いただきました。

第一部は島俊英院長、岡上武

名譽院長のあいさつでスタート。

地域医療支援部門の和田陽子部

長が医療連携報告・方針を述べ、

新任科長を紹介しました。

第二部では、竹中英昭副院長

が座長を務め、廣橋里奈副院長が「新型コロナウイルス感染症の画像診断」について講演。閉会のあいさつは、水野智恵美副院長が行ないました。

次回は登録医との親睦を深めるために、対面形式で開催できることを願っています。

第15回登録医総会  
大正区吹田病院

総会を10月29日、当院東館セン

タホールで開催しました。今

回は感染防止のためWeb配信

を行ない、25人の登録医の先生方に参加いただきました。

第一部は島俊英院長、岡上武

名譽院長のあいさつでスタート。

地域医療支援部門の和田陽子部

長が医療連携報告・方針を述べ、

新任科長を紹介しました。

第二部では、竹中英昭副院長

が座長を務め、廣橋里奈副院長が「新型コロナウイルス感染症の画像診断」について講演。閉会のあいさつは、水野智恵美副院長が行ないました。

次回は登録医との親睦を深めるために、対面形式で開催できることを願っています。

第15回登録医総会  
大正区吹田病院

総会を10月29日、当院東館セン

タホールで開催しました。今

回は感染防止のためWeb配信

を行ない、25人の登録医の先生方に参加いただきました。

第一部は島俊英院長、岡上武

名譽院長のあいさつでスタート。

地域医療支援部門の和田陽子部

長が医療連携報告・方針を述べ、

新任科長を紹介しました。

第二部では、竹中英昭副院長

が座長を務め、廣橋里奈副院長が「新型コロナウイルス感染症の画像診断」について講演。閉会のあい





なでしこ  
ファーム

ほほえみ

熊本済生会ほほえみ「パン工房ふわり」

熊本県熊本市南区内田町3560-1 Tel: 096-223-3428

松山ワークステーション「なでしこ」

愛媛県松山市東山町143番地 Tel: 089-916-6959



## 焼き菓子のネット通販店「なでしこファーム」

なでしこファームは、済生会の就労継続支援事業所で作ったお菓子を販売するネット通販店。

熊本・済生会ほほえみと愛媛・松山ワークステーションが出店し、済生会のホームページ上で営業中です。

商品のクッキーやケーキは、障害者が街のお店に追いつき追い越せと、一生懸命つくりました。

どうぞ一度、その思いも一緒に召しあがってみてください。お歳暮にも最適です。 店主敬白



◆クッキー (左上から時計回りにマーブル、ゴマ、プレーン、クルミ)

♥ギフトボックス(クッキーとバウンドケーキの詰め合わせ)

✿くまドレース(くまの形で、手軽に食べられる大きさのマドレース)

◆元祖クッキー(片栗粉を使ったサクサクとした歯ごたえが人気)

済生会のトップページからアクセス!!  
<https://www.saiseikai.or.jp>



ホームページには、他にも魅力いっぱいの商品が。工房で、お店で活躍するスタッフの様子も。ぜひご覧ください。

